

竹田

春恋し 君にそぐ桜花





住民主体、地域の個性を生かした

地域コミュニティ組織のあり方を考える

少子高齢化、過疎化により地域コミュニティの衰退が叫ばれている。竹田市でも自治会や公民館・分館などの地域運営組織の継続的な活動が困難になってきています。

これからの地域コミュニティ組織の仕組みづくりについて考える「地域コミュニティ組織のあり方検討報告会」が3月13日、

竹田市総合社会福祉センターで開催されました。

冠婚葬祭や地域福祉等の相互扶助、伝統文化の継承、行政との連絡調整など多岐にわたる機能を果たしているコミュニティ組織。竹田市の地域の実態に即したコミュニティ組織のあり方について考えます。

市では、地域コミュニティの実情を把握するため、「地域コミュニティ組織のあり方検討チーム」の協力を得て、ワークショップやアンケート調査、ヒアリングを実施。

市内356自治会の自治会長を対象に行ったアンケート調査の集計結果によると、自治会の課題として、役員のなり手がいない(52%)、各種会議や作業の参加率低下(50%)などマンパワーの不足や低下を訴える声、既存行事の見直しや合理化(34%)など既存の活動が困難になっているケース、子どもや高齢者の見守り(47%)、鳥獣害(47%)など新しい課題の対応に苦慮していることが伺えます。

今後の自治会活動の見通しについては、3～5年後には困難5～10年後には困難が合わせて77%を占め、すでに継続困難という自治会も9%あります。

また、通常の公民館業務に加え、行政や地域の各種事務局業務を抱えている市内17の公民館・分館の館長に調査を行った結果、現在の運営が困難化しつつあり(54%)、3～5年後に

自治会長アンケート結果 ※356自治会のうち296自治会から回答

- 自治会の課題
 - ①規約(会則)等のルールの未整備 (59%)
 - ②役員のなり手がいない (52%)
 - ③各種会議や作業の参加率低下(50%)
 - ④鳥獣害 (47%)
 - ⑤見守り (47%)
 - ⑥既存行事イベントの見直しや合理化(34%)
 - ⑦防災 (24%)
 - ⑧移住者受入 (23%)
 - ⑨子ども会・老人クラブ・婦人会の活動(22%)
 - ⑩加入率の低下 (16%)
- 今後の自治会活動の継続の見通し
 - ①5～10年後には困難 (51%)
 - ②3～5年後には困難 (26%)
 - ③10年は問題ない (13%)
 - ④すでに継続困難 (9%)
- 対策として検討または期待していること
 - ①特に対策は必要ない (26%)
 - ②若者や女性のさらなる参画(20%)
 - ③自治会を補完するコミュニティの組織設立(19%)
 - ④移住者(転入・Uターン)の受入 (10%)
 - ⑤周辺自治会と統合 (19%)

公民館・分館長アンケート結果 ※17公民館・分館のうち13の公民館・分館から回答

- 現在の公民館・分館の運営
 - ①上手にしている(31%)
 - ②困難化しつつある(54%)
 - ③既に困難化 (15%)
- 運営の課題(※複数回答、上位5つ)
 - ①運営ルール不明確(54%)
 - ②施設老朽化 (54%)
 - ③活動停滞 (39%)
 - ④業務量増大 (39%)
 - ⑤資金不足 (31%)
- 今後の運営について
 - ①既に継続困難(15%)
 - ②3～5年後に困難化(62%)
 - ③6～9年後困難化(16%)
- 分館長業務の課題(※複数回答、上位5つ) ※10の公民館・分館から回答
 - ①なり手がいない(90%)
 - ②業務内容不明確 (70%)
 - ③他業務過多 (70%)
 - ④本来業務過多 (30%)
 - ⑤報酬が少ない (20%)



↑報告会では市民の皆さんから、地域コミュニティのあり方についてさまざまな意見が出されました



↑自治会長・分館長・よっちはなそう会を対象に行ったワークショップでは、課題が浮き彫りに

※平成30年3月8日時点

4月号

竹田

広報



■今月の表紙
「春恋し 君にそぐ桜花」
竹田市宮城地区はしだれ桜の名所。3月下旬から4月上旬の開花時期には、毎年多くの観光客が訪れます。古庄家には樹齢300年、100年、80年を超える3本のしだれ桜があり、美しい曲線を描く枝にたくさん淡桃色の花をつけます。春のやわらかい光。天から降り注ぐように咲く優美な桜との出会い。

■撮影場所 竹田市炭竈「古庄家のしだれ桜」
※2017年4月撮影
■題 字 草刈樵峰(竹田市在住の書家)

- 2 地域コミュニティ組織のあり方を考える
- 4 「黒毛和牛オーナー制度」が始まります
- 5 工芸作家の定住に向けて／地域おこし協力隊活動報告会
- 6 平成30年度の予算をお知らせします
- 8 瀧廉太郎記念音楽祭実行委員メンバー募集 ほか
- 9 竹田市総合文化ホール市民スタッフ第2次募集 ほか
- 10 平成30年度竹田市人事異動
- 12 まちの出来事
- 15 竹田うまれ～竹田市が育む作物たち～
- 16 竹田市のこよみ
- 18 たけたん情報
- 21 求人情報／人権シリーズ「ぬくもり」
- 22 休日・夜間の在宅当番医院／出張！えがおの子育て小児科
- 23 子ども医療費の助成内容が拡充されます
- 24 監査公表
- 25 監査公表／たけたん新電力
- 26 職業人材マッチング調査事業 ほか
- 27 学び舎／まるごと博物館
- 28 マイナンバーカードをつくりませんか
- 29 図書館に行こう
- 30 市長コラム「有由有縁」
- 31 映像クリエイター山下歩さん／すくすく1歳／誕生おめでとう
- 32 郷土の植物／アップレ！100歳

人口のうごき

(前月比)

人口 22,329 人 (- 36人)
男性 10,427 人 (- 16人)
女性 11,902 人 (- 20人)
世帯数 10,385世帯 (+ 2世帯)

※平成30年3月1日現在の住民基本台帳による

人口約3万9千人、島根県の東部に位置する雲南市。人口減・少子高齢化に対応するため、地域内のことを「自ら考え、決定し、実行」する組織「小規模多機能自治組織」を平成19年に立ち上げ、住民主体のまちづくりに取り組んでいます。

概ね小学校区域で結成された自治組織は、市内全域に30組織。交流センターを活動拠点に自治会や消防団、営農組織、女性グループなどのあらゆる団体が結集し、地域の総力で課題を自ら解決する「地域の経営体」をなしています。

地縁でつながる住民が広域的・多面的に連携することで、自治会単位では困難な問題も解決

糸口を見いだせ、さらに行事などにも目的意識を持つことで、地域の個性を生かしています。「幸運なんです。雲南です。」のブランドメッセージを掲げ、地域コミュニティの再生を図る雲南市の取り組み。同様の問題に悩む竹田市にとって大きなヒントになりそうです。



↑雲南市の取り組み事例を紹介する雲南市政策企画部地域振興課企画官の板持周治さん

雲南市の事例を踏まえ、竹田市ならではの地域コミュニティ組織づくりを推進するために、市では、「誰もが住み慣れた場所でも心身ともに豊かに暮らせる地域」を目指し、協働のまちづくり、住民自治を推進します。そのために――

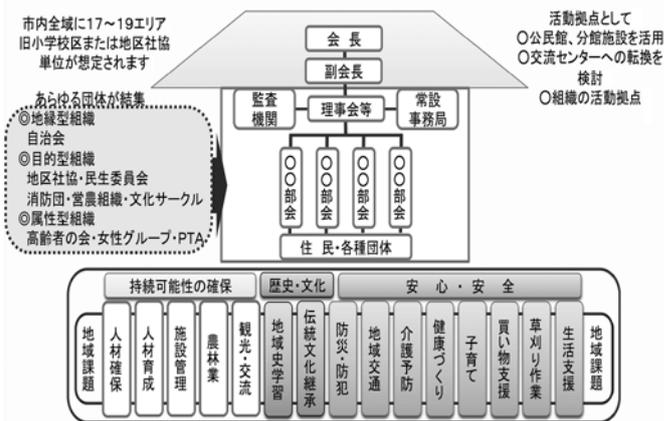
- ①住民自治を生かした協働のまちづくり
- ②自治会を補完し、福祉活動の強みを生かした横断連携の仕組みを構築
- ③公民館・分館を実態に合わせて多機能化し、地域の活動拠点にする

を柱に、全庁的な体制を整え、地域の実情に応じて柔軟・丁寧に進めていきます。

平成30年度に行政の体制の整備や必要な条例の検討、関係団体への説明等を行ったうえでモデル地域を設定、平成31年度に地域でコミュニティ組織を立ち上げるための準備会を定めます。

【地域コミュニティ組織のモデル・イメージ】 (市民力を地縁単位で結集する)

組織・拠点施設・常設事務局〈概ね旧小学校区〉



地域課題を、住民自らが事業化して解決する仕組み

竹田市企画情報課TOP戦略推進室 ☎63-4801

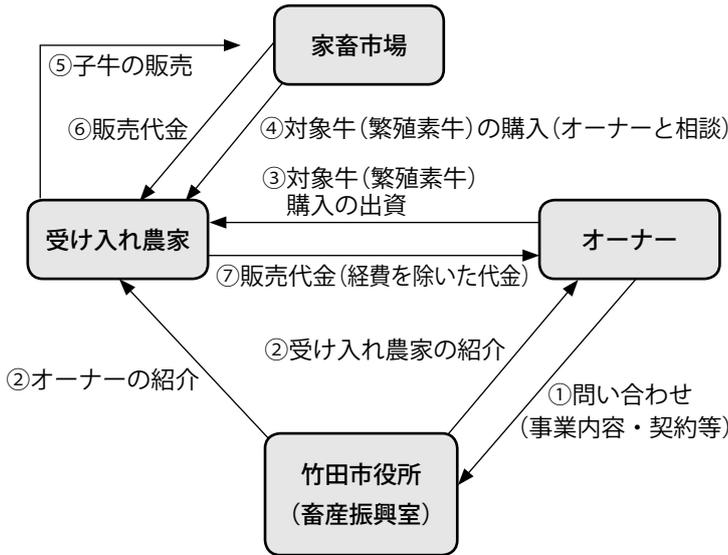
新たな畜産振興の取り組み

「黒毛和牛オーナー制度」が始まります

県内でも有数の畜産振興地域、竹田市。しかしながら畜産農家の高齢化による後継者不足、戸数・飼養頭数の減少が進行しています。市では後継者不足を解消し、畜産業の活性化を図る「草原の黒いダイヤ応援プロジェクト」を平成28年に立ち上げ、応援会員の募集を開始するなど、

畜産振興に向けた取り組みを進めています。今回、新たに畜産農家の飼養頭数の増頭を目的とした「黒毛和牛オーナー制度」を創設。オーナーを募集し、その出資による農家の繁殖牛の導入費用の軽減と増頭を目指すプロジェクトがスタートします。

◎「黒毛和牛オーナー制度」フローチャート



オーナー（資金出資者）からの問い合わせ①により、竹田市畜産振興室が受け入れ農家を紹介②。オーナーは繁殖を行うための対象牛の購入費用を出資③し、受け入れ農家はオーナーと相談し、家畜市場で対象牛を購入④。受け入れ農家はオーナーからの預かり期間（子牛3頭を出荷するまで）飼養管理し、その間に生まれた子牛を家畜市場に出荷⑤。受け入れ農家は家畜市場から受け取った販売代金⑥から経費を除いた代金をオーナーに支払う⑦ものです。なお、預かり期間が終わったあとの対象牛（繁殖素牛）は、受け入れ農家に譲渡されます。（注）ここでいう出資とは、素牛の飼養管理を委託（預託）することをいう。

このオーナー制度の特典として、対象牛が4頭目〜8頭目の子牛を市場販売したときには、受け入れ農家より新米10キロと謝礼金（2万円）をプレゼント。畜産振興に向けた新たな試み「黒毛和牛オーナー制度」をぜひ活用してみませんか。

☎ 竹田市畜産振興室 76-1010

導入資金の軽減に

和牛が高値で取引されている現在、自己資金での和牛の購入に多くの若手畜産農家が苦慮しています。金融機関から資金を借り入れるのではなく、市がオーナーを募り出資してもらう「黒毛和牛オーナー制度」。現在50頭を飼養していますが、今後80頭まで増頭を目指していきなす。活用してみたい制度です。和牛に興味のある方にオーナーになっていただき、農家とも竹田市とも長く付き合いをしていただければと思います。

私たち農家も確実に子牛を市場に出荷できるよう、受け入れ農家で連携を取り、繁殖技術の向上に努めていきます。



「牛に関わる仕事がしたい」―地域おこし協力隊員としての3年の任期を3月で終える江城満さん（36歳）。竹田市枝の畜産農家、廣瀨國明さん（66歳）のもとで牛の世話をしながら、畜産について学んでいる。

「将来、自然の中で動物に囲まれながら働きたい」と夢見るほど、小さい頃から無類の動物好きだった江城さん。竹田市が畜産ヘルパーを募集していることを知り大阪から移住、地域おこし協力隊としての活動を始めた。「牛の世話は初めて。実際に畜産農家の手伝いをしてみると、農家ごとに牛の管理方法が異なり、覚えるのが大変だった」

そんな江城さんに運命的な出会いが訪れる。畜産ヘルパーを求めている廣瀨さんとの出会いだ。「廣瀨さんと畜産の話をするうちに、熱い思いが湧いてきた」

昨年10月から、市内2か所です約60頭の肉用牛を繁殖する廣瀨さんの畜舎で週2回の研修を始めている。「トラクターを運転したり、外で作業するのは新鮮。廣瀨さんの作業を見て話を聞いて、毎日が勉強の連続」と話す。

畜産農家を志す

廣瀨さんは「熱意がある若者が竹田で生活が営め、永住に結びつくことが私の一番の願い」と熱のこもった表情で語る。「生活できるだけの収入を上げてもらうことが第一。先を見据えながらいい系統、いい肉質の牛を育てることを教えていきたい」

4月から江城さんを従業員として雇用し、将来的に独立を目指すよう、畜舎の一部の共同利用を提案しているという。「新たに畜産を始めるには多額の資金が必要。1頭からでも始められるように畜舎の空いているところを使ってもらおうと思っただと廣瀨さん。」



↑(左から)廣瀨國明さん、奥さんの文子さん、江城満さん

江城さんは「ありがたい話。期待に応え、竹田で暮らしていきたい」と熱いまなざしで話してくれた。

バイヤー・ギャラリーオーナー向けの展示商談会

工芸作家の定住に向けて



↑バイヤーの皆さんは作家と商談を行うとともに、ものづくりへのアドバイスをおくっていました

水も空気もきれいな恵まれた環境でキラリと光る独自の作風を確立して「使う人の暮らしを考えたものづくりをと、作家に対しアドバイス。作家からは「価格設定や買い手のニーズなど参考になる助言をいただいた」「オーナーと知り合えたこの機会を販路拡大に生かしたい」と、今後の活動につながるヒントを得ていました。

竹田市は、平成21年に全国に先駆けて移住・定住を促す「農村回帰宣言」を標榜。中でも約40人の工芸作家が創作活動の場として竹田を選び移住していきま。市ではものづくりの拠点施設「竹田総合学院(TSG)」等を整備するなど、作家の定住に向けた環境づくりを行っています。さらなる定住促進を図るため、これまで個人の努力に委ねられていた商品の販路開拓や、作家個人のスキルアップを目的としたバイヤー・ギャラリーオーナー向けの展示商談会が2月22日、竹田市竹田町のR&S(旧

馬場家具倉庫)で行われました。今回の商談会は、「城下町の既存店舗と作家がお互いに共生できる仕組みを作ろう」と活動を展開している民間グループ「竹田市城下町『お店×作家コラボプロジェクト』」の業務支援を得て実現。竹工芸や磁器・陶器、絵画などの作家11人と、アートやクラフト関係の作品を取り扱う県内外のバイヤー12人が参加し、約500点の作品が展示された会場では、バイヤーらは作家がPRする作品を手に取りながら商談を進めました。

竹田でもものづくりを継続するために

ものづくりに携わる人のスキルアップを目的とした「TAKETAものづくり塾」が2月27日、竹田総合学院(TSG)で開催されました。



↑年4回の最後となる講座には、市内で活動する作家など約20人が参加

東京都出身で、ウイメンズウェアや生活雑貨を扱うバイヤーの安藤桃代さんを講師に引き講演が行われ、安藤さんは「豊かな自然、おいしい水……竹田の空気感を反映させた作品を、テーマを決めて複数の作家と一緒にディスプレイし、販売していく。そんな竹田ならではの方法があるのでは?」と、ものづくりや販売のヒントを参加者に伝えました。

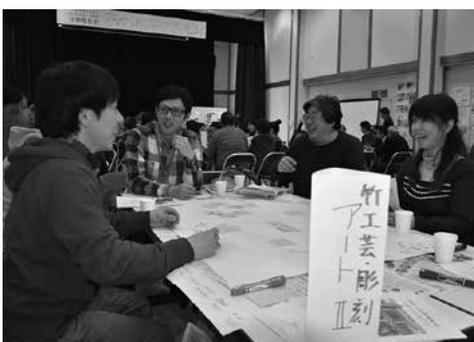


地域おこし協力隊活動報告会 隊員と市民の垣根を越えて

全国最多の延べ49人の地域おこし協力隊員が移住し活動している竹田市。

隊員の1年間の活動を振り返るとともに、市民と隊員の相互交流を図り、活動への理解を深めてもらうとうとう2月25日、地域おこし協力隊活動報告会、お世話になったごが、竹田市総合社会福祉センターで開催されました。

隊員約40人と市民ら約80人が参加。会場では隊員が自らの活動をパネルや作品展示、映像等で紹介。また、隊員と市民の交流の場として、まちづくりや食育・農業、アートなど隊員の活動分野ごとに10のグループに分かれ、意見交換会が行われました。テーマは「竹田で暮らしていて、よかつたと思えること」。



↑意見交換会では、竹田の魅力を再発見

隊員からは「生活の中に温泉があること」や「高原で見る星の輝き」、「人の温かさ」などの意見が出され、市民も改めて竹田の魅力を再発見する機会となりました。

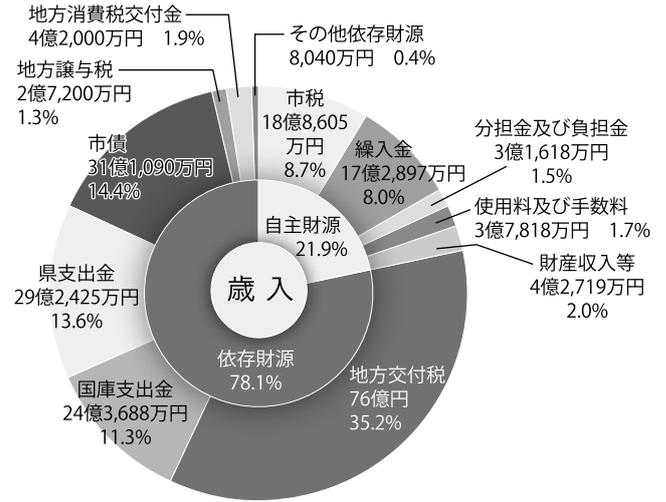
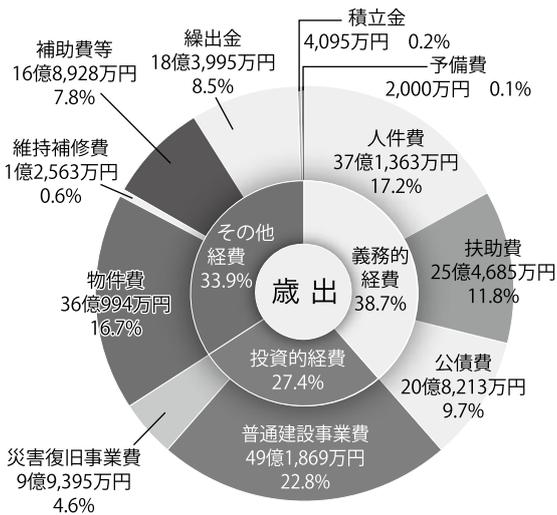
久住町から参加した佐藤さん(移住者の)隊員から見た竹田の魅力に気づかされた。彼らに竹田に残ってもらうためにも、意見やアイデアを出し合い、一緒に活動していくことができれば」と期待を込めて話し、隊員の吉峰拓さん(市文化政策課配属)は「私たち隊員を含む移住者と市民、地域の垣根を越えた文化イベントを開き、相互理解を深めていきたい」と、今後の活動について力強く話してくれました。

平成30年度の予算をお知らせします

一般会計予算総額

215億8,100万円

3月の竹田市議会第1回定例会で、平成30年度の予算が議決されました。
市独自の補助である肉用牛新規就農者等育成対策事業や城下町再生事業など、歴史文化と地域資源を活かしたまちづくりのさらなる推進を図る政策の一端をご紹介します。



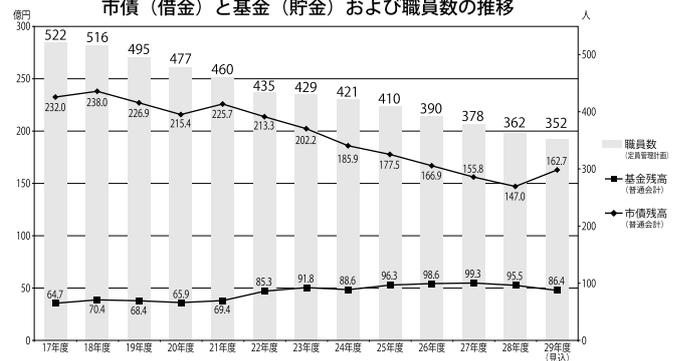
■歳出(目的別)

議会費	1億6,532万円	議員報酬など議会の運営に要する経費	土木費	18億5,286万円	道路や河川、市営住宅の整備などに要する経費
総務費	33億795万円	職員や各種委員の人件費など管理事務に要する経費	消防費	6億7,505万円	消防団の運営費などの消防活動に要する経費
民生費	50億2,302万円	医療費の助成など社会福祉向上に要する経費	教育費	28億8,306万円	学校施設の整備や文化・スポーツ振興などに要する経費
衛生費	10億3,524万円	保健活動やごみ・し尿処理などに要する経費	災害復旧費	9億9,395万円	農地・市道・河川などの災害復旧に要する経費
労働費	1,149万円	雇用対策などに要する経費	公債費	20億8,213万円	市が借り入れたお金の返済金に要する経費
農林水産業費	29億4,437万円	ほ場整備など農業や林業の振興に要する経費	予備費	2,000万円	
商工費	5億8,656万円	商工・観光の振興などに要する経費			

予算編成の基本方針

- 歴史・文化の継承と、安心・安全な生活を守るまちづくりの推進
- 過疎・少子高齢化対策施策の推進
- 地域資源を活かした産業振興の推進
- 公共施設の長寿命化と総量削減の推進
- 自治体経営力を高める歳入確保対策
- 地方創生推進に向けた課題の解決
- 会計年度任用職員制度に向けた取り組み
- 新エネルギー戦略事業の取り組み

市債(借金)と基金(貯金)および職員数の推移



少子高齢化の進展等による社会保障費や、施設の老朽化に伴う維持補修費の増大、大規模な災害の発生など、本市の財政状況は依然として厳しい状況が続いています。今後も公共施設の適正な管理等により、後年度負担の軽減に努めます。

竹田市財政課 ☎63 1111
(内線231・232)

※竹田市のホームページでも当初予算の概要を掲載しています。

平成30年度一般会計当初予算には、城下町交流プラザ、歴史文化交流センター(仮称)等の城下町交流拠点施設の整備、豪雨等からの災害復旧費などが盛り込まれ、総額215億8100万円となっています。歳入では市税が個人市民税、法人市民税等の増収を見込み、3631万円(5.1%)の増としていきます。また地方交付税は、普通交付税が合併算定替縮減の3年目を迎えることから、前年度より減額の67億円、特別交付税が9億円、合計76億円を見込んでいます。国庫支出金は、社会資本整備総合交付金の減額等で、前年度比6億2095万円減額、県支出金は、農地や農業用施設の災害復旧費の増額等で7億8264万円の増額を見込んでいます。

平成30年度の主な事業

◆は新規の市単独事業 ●は市単独事業 ○は国県等の財源を活用しています
()内は事業費の財源内訳を記載しています

総務費

- 地域おこし協力隊推進事業 1億9,162万円
(特別交付税措置)
- まちづくり支援事業 3,128万円
(寄附金：2,800万 一般財源：328万)
ふるさと納税に関する内容の充実やまちづくりに取り組む市民を支援
- 三重総合高校久住校学生寮建設事業 4億2,202万円
(基金：3,000万 地方債：3億9,140万 一般財源：62万)
- ◆国民文化祭開催事業 2,582万円
- 総合文化ホール(グランツたけた)開館記念事業 2,576万円
(国費：294万 その他：481万 一般財源：1,801万)

衛生費

- 子ども医療費助成事業 6,513万円
(県費：1,640万 その他：71万 一般財源：4,802万)
中学生までの医療費を無料化
- 地域新電力事業 1,269万円
電力小売り事業に係る委託費

土木費

- 社会資本整備総合交付金事業 11億8,611万円
(国費：6億2,539万 県費：4万 基金：400万 地方債：4億8,480万 一般財源：7,188万)
道路改良・維持、都市再生整備事業等
- 急傾斜地崩壊対策事業 6,554万円
(県費：3,100万 その他：1,229万 一般財源：2,225万)
降雨や地震等によるがけ崩れ防止対策

消防費

- 消防施設整備事業 8,355万円
(地方債：7,680万 一般財源：675万)
救急自動車及び消防団車輛の更新、消防団詰所整備、防火水槽の新設

商工費

- 城下町交流プラザ建設事業 2億1,412万円
(国費：4,500万 基金：1,900万 地方債：1億5,000万 一般財源：12万)

特別会計

会計名	当初予算額	会計名	当初予算額
竹田市立こども診療所特別会計	2億2,330万円	簡易水道事業特別会計	2億506万円
長湯温泉療養文化館特別会計	5,380万円	農業集落排水事業特別会計	8,815万円
国民健康保険特別会計	35億147万円	浄化槽整備推進事業特別会計	2億2,853万円
後期高齢者医療特別会計	3億9,623万円	国民宿舎久住高原荘事業特別会計	2億9,003万円
介護保険特別会計	33億6,267万円		

水道事業会計

区分	当初予算額	区分	当初予算額
収益的収入(水道料金など)	1億7,832万円	資本的収入(工事負担金など)	1,542万円
収益的支出(水道水供給費用)	1億7,718万円	資本的支出(建設改良費・償還金)	8,311万円

農林業費

- 活力あふれる園芸産地整備事業 3億1,797万円
(県費：2億3,964万 一般財源：7,833万)
ハウスや機械の導入等に係る助成
 - 親元就農支援事業(県・市単独事業合算) 3,090万円
(県費：825万 地方債：2,150万 一般財源：115万)
経営の不安定な就農初期段階の親元就農者に対する給付
 - 有害鳥獣被害防止対策事業 5,627万円
(県費：2,413万 地方債：1,600万 一般財源：1,614万)
イノシシ、シカなどの野生鳥獣による農林業被害防止のための支援
 - ◆肉用牛新規就農者等育成対策事業 1,200万円
畜舎及び堆肥舎を新築・増築・改築する場合の新規就畜者等に対する補助
 - 県営土地改良事業負担金 5億2,007万円
農業施設の近代化や農地の集約化
 - 多面的機能支払交付金事業 2億5,188万円
(県費：1億8,891万 一般財源：6,297万)
農業・農村の地域活動や営農の継続等に対する支援
 - 中山間地域等直接支払交付金事業 4億9,719万円
(県費：3億7,289万 一般財源：1億2,430万)
農業生産条件の不利を補正するため、生産活動を維持する活動を支援
- ## 教育費
- 歴史文化交流センター(仮称)建設事業 10億7,799万円
(国費：1億7,795万 基金：9,964万 地方債：8億40万)
 - 総合文化ホール(グランツたけた)整備事業 3億2,292万円
(県費：2,300万 基金：2億9,700万 一般財源：292万)
オープンに係る備品購入費等
 - 学校・幼稚園施設整備事業 2,265万円
(基金：1,600万 一般財源：665万)
小中学校トイレ洋式化改修、幼稚園空調設置
 - 岡城跡公有化事業 4,757万円
(国費：3,805万 県費：238万 一般財源：714万)
史跡指定地の用地購入

瀧廉太郎記念音楽祭実行委員メンバー募集！

音楽
コンクール

「廉太郎ホール」で初開催 市民一体で盛り上げよう！

今年の「瀧廉太郎記念全日本高等学校音楽コンクール」を運営する実行委員メンバーを募集します！ 未来の音楽家を志す高校生たちの「栄光の舞台」を一緒に支えませんか。

今年で第72回を数える「瀧廉太郎記念全日本高等学校音楽コンクール」は、秋に開館する竹田市総合文化ホールグラントツたけたの「廉太郎ホール」(大ホール)で初めての開催を迎えます。

あなたの情熱が必要です！

当大会は、市内の各音楽団体や地域団体等によって構成され



↑廉太郎記念館の蔵でコンサート

ている「瀧廉太郎記念音楽祭実行委員会瀧廉太郎記念全日本高等学校音楽コンクール」の皆さんが主体となって企画、運営をしています。新「文化ホール」での初開催にあたり、竹田らしくよりよいものとしていくために、その土台となる企画、広報に関する活動はもちろん、力を使う仕事や事務的な作業まで様々な運営に携わっていただける「実行委員(ボランティアスタッフ)」を募集します。

瀧廉太郎を育てた、音楽のまち竹田で開催される「音楽コンクール」を市民の皆さんの手で成功させましょう！

募集期間 4月30日(月)まで

活動内容 音楽コンクールの開催(10月の第3週の金・日曜)に向けて、平日の夕方に実行委員



↑ロビーにて「かぼすカフェ」をオープン。のどにやさしい「かぼす湯」は出場者に大好評！

会を数回行い、「歓迎レセプション」「おもてなし」「広報・宣伝」等、部会ごとの活動をしていただきます。

●お問い合わせ 瀧廉太郎記念音楽祭実行委員会事務局(竹田市文化政策課内) ☎63-4837

国民文化祭CM

撮影快調！

10月6日から11月25日の51日間にわたって開催される「第33回国民文化祭・おおいた2018」「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」。市民の皆さんにお知らせして、機運を盛り上げようとCMを制作しています。竹田市地域おこし協力隊の山下歩さんによる竹田市総合文化ホール「グラントツたけた」のイメージソング「かがやく未来へ」のメロディーに乗せ

て、文化活動のほか、アートやクラフト作品等の制作、まちづくりなど、それぞれのステージで元気に活動されている市民の皆さんに出演していただきます。また、3月10日にはラストシーンの撮影が久住高原で行われ、参加者は心をひとつにして、元気いっぱい撮影に取り組んでいました。

完成したCMは5月頃からオンラインエア。たけたケーブルテレビ、また竹田市公式ホームページの動画広報欄でご覧いただけます。CMを通じて、竹田の魅力を市内外に情報発信します。



↑国民文化祭は、竹田にお越しくささい！



←おおいた大茶会にあわせて久住高原で野点

竹田市総合文化ホール「グランツたけた」

ボランティア 市民スタッフ第2次募集

竹田市総合文化ホール「グランツたけた」を一緒に盛り上げていただけるスタッフを募集しています。

4月から何か新しいことにチャレンジしてみようと思っ
ている方、ぜひご応募ください！

◎このような方を募集しています！

- ・「音楽・演劇・舞踊・映画等に興味がある！」
- ・「仲間づくりがしたい！」
- ・「イベントの企画にチャレンジしてみたい！」
- ・「自分の趣味・特技を生かした活動がしたい！」

業務内容 「グランツたけた」で

フロントスタッフとしてお客さまをお迎えしたり、舞台スタッフとして自主公演を支えたり、賑わいを創出するイベント企画・運営など、多様な関わり方ができます。

任期 年1回更新

条件 「グランツたけた」の活動に理解と関心を持ち、積極的に「グランツたけた」の活動に参加していただける方

対象 高校生以上の方

募集締切 5月31日(木)

申込方法 まずは竹田市文化政策課までお電話ください。申

グランツたけた
ホームページ開設しました

10月に開館を迎える「竹田市総合文化センター グランツたけた」のホームページ[URL: <http://www.taketa-city.com/glanz/>]がこの度開設されました。「グランツたけた」の概要や竹田市主催事業、また国民文化祭事業等の情報は、このページから発信します。

お問い合わせは、竹田市文化政策課 ☎0974-63-4837まで。

なお、竹田市公式ホームページのトップページにあった「瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール」のバナーは、「グランツたけた」のトップページに移動しています。

採用紙は、「グランツたけた」のホームページからダウンロードできます。

申込用紙は、直接文化政策課にお持ちいただくか、郵送、FAXまたはメールでも構いません。

待遇 研修の受講(専門講師による研修や i i c h i k o 総合文化センターへの視察・鑑賞会あり)

活動に応じてグランツポイントを付与します。(グランツポイントとは、主催公演の鑑賞時に利用できます)

●お問い合わせ・お申込み先

竹田市文化政策課(〒878-1855 竹田市大字会々

1650番地)

☎0974-63-4837

FAX 0974-63-0995

E-mail: bunka@city.taketa.lg.jp



↑グランツたけた開館記念告知ポスターが完成。「わくわくで、つながろう。」(グランツの「G」ポーズ)

建設中の「グランツたけた」
工期は5月31日に延長

現在、建設中の竹田市総合文化ホールは3月定例会において議決をいただき、平成30年3月7日完成予定が5月31日まで工期を延長することになりました。なお、10月7日の開館につきましては、変更はありません。市民の皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いします。



↑建設中の現場で行われた市議会議員視察。熱心に質問をする議員の皆さん(2月26日)

平成30年度竹田市人事異動

〔平成30年4月1日付〕（ ）内は旧役職

課長

▽総務課長兼行政改革推進室長兼市長公室長(総務課長兼行政改革推進室長 池永徹)
▽市民課参事兼環境衛生係長(市民課長補佐兼環境衛生係長 深田徹)▽保険健康課参事(高齢者福祉課参事)渡邊由美子▽人権・同和对策課長(社会福祉課長・福祉事務所長)阿南秀則▽社会福祉課長・福祉事務所長(商工観光課長兼野外活動施設所長兼瀧廉太郎記念館長兼竹田温泉花水月館長 志賀郁夫)▽農政課長(図書館長 後藤芳彦)▽農政課参事兼畜産振興室長(建設課長補佐兼庶務係長)大神正己▽商工観光課長兼野外活動施設所長兼瀧廉太郎記念館長兼竹田温泉花水月館長(久住支所地域振興課長兼會計課久住分室長)併)生涯学習課課長(併)久住学校給食共同調理場次長(併)選挙管理委員会久住支局長(後藤惟稔)▽建設課参事兼庶務係長(市民課参事兼年金係長 堀勇進)▽建設課玉来タム・中九州横断道路推進対策室長(會計課契約検査室長 清水慎治)▽上下水道課参事(上下水道課参事兼庶務係長)衛藤洋一▽會計管理者兼會計課長(選挙管理委員会事務局局長)併)監査事務局局長 姫野修次▽會計課契約検査室長(農政課長)工藤高一▽會計課契約検査室参事(農林整備課参事兼地籍調査係長)安藤信次▽荻支所地域振興課長兼會計課分室長(併)生涯学習課課長(併)選挙管理委員会荻支局長(荻支所地域振興課長兼會計課分室長兼市民係長事務取扱兼産業建設係長事務取扱

(併)生涯学習課課長(併)選挙管理委員会荻支局長 赤木宏幸)▽久住支所地域振興課長兼會計課久住分室長(併)生涯学習課課長(併)久住学校給食共同調理場次長(併)選挙管理委員会久住支局長(教育総務課参事)後藤聡▽教育総務課長兼図書館長(教育総務課長)古野文浩▽教育総務課参事兼総務係長(稅務課参事)菊池亨子▽竹田中央学校給食共同調理場長兼久住学校給食共同調理場長兼直入学校給食共同調理場長(建設課参事兼玉来タム・中九州横断道路推進対策室長)大谷恭一▽選挙管理委員会事務局局長(併)監査事務局局長(會計課参事兼會計係長)柴尾浩昭

課長補佐

▽総務課長補佐兼職員係長兼秘書広報係長(総務課長補佐兼職員係長兼行政改革推進室長補佐)渡邊良夫▽企画情報課長補佐(教育総務課主幹兼総務係長)佐藤緑恵▽文化政策課長補佐(企画情報課長補佐)古田卓▽文化政策課長補佐兼文化政策係長(文化政策課長補佐)廣瀬恵三▽財政課長補佐兼財政係長(財政課長補佐)筑紫聡▽財政課長補佐兼市有財産経営管理室長(財政課主幹兼市有財産経営管理室長)佐藤俊郎▽稅務課長補佐兼課稅係長(社会福祉課長補佐兼子育て支援係長)峯田佳子▽市民課長補佐兼年金係長(農業委員会事務局次長兼管理係長)衛藤和恵▽人権・同和对策課長補佐兼人権・同和对策係長(農業委員会事務局次長兼農地係長)和田雪子▽社会福祉課長補

佐兼高齢者福祉課長補佐(兼)社会福祉協議会事務従事(企画情報課長補佐兼TOP戦略推進室長)渡部哲哉▽社会福祉課長補佐(社会福祉課主幹兼生活保護係長)後藤いづみ▽社会福祉課長補佐兼子育て支援係長(総務課市長公室長兼秘書広報係長)熊谷芳浩▽高齢者福祉課長補佐(保険健康課長補佐)吉田まり子▽農政課長補佐兼林業振興室長(農政課長補佐)前原文之▽農林整備課長補佐(稅務課長補佐兼課稅係長)後藤靖文

▽農林整備課長補佐兼地籍調査係長(建設課長補佐)後藤将道▽都市デザイン課長補佐兼都市デザイン係長(都市デザイン課長補佐)武内公司▽會計課長補佐兼會計係長(人権・同和对策課長補佐兼人権・同和对策係長)上田哲士▽荻支所地域振興課長補佐(農林整備課長補佐)後藤一郎▽久住支所地域振興課長補佐(併)久住学校給食共同調理場次長(久住支所地域振興課長補佐兼産業建設係長)併)久住学校給食共同調理場次長(併)直入支所地域振興課長補佐兼人権・同和对策課長補佐(併)直入学校給食共同調理場次長(併)選挙管理委員会直入支所次長(高齢者福祉課長補佐)大濱寿賀子▽図書館次長(学校教育課長補佐兼教育指導係長)大塚聡子▽監査事務局次長(併)選挙管理委員会事務局次長(監査事務局次長兼庶務係長)併)選挙管理委員会事務局次長兼選挙係長(工藤直樹)▽農業委員会事務局次長兼農地係長兼管理係長(農政課長補佐兼林業振興室長)氏田哲生

係長

▽企画情報課主幹兼TOP戦略推進室長(稅務課主幹兼特別収納推進室長)本田広行

▽稅務課主幹兼特別収納推進室長(生涯学習課主幹兼スポーツ振興係長)後藤和司▽市民課主幹兼市民係長(議会事務局主幹兼庶務係長)堀貴美子▽保険健康課管理係長(兼)子ども診療所管理係長(財政課財政係長)後藤英樹▽保険健康課国保・高齢者医療係長(生涯学習課主幹兼秋教育係長)赤木康造▽社会福祉課生活保護係長(保険健康課国保・高齢者医療係長)加藤光寿▽農政課ブランド推進室係長(都市デザイン課都市デザイン係長)佐田圭司▽農林整備課主幹兼大野川上流推進室長兼大野川上流地域維持管理協議会事務従事(農林整備課主幹兼大野川上流推進室長)井上清志▽農林整備課主幹(上下水道課主幹兼工務係長)齋藤誠▽上下水道課主幹兼庶務係長(荻支所地域振興課主幹兼係長)後藤誠郎▽上下水道課主幹兼工務係長(上下水道課主幹)大塚幸治▽上下水道課生活排水係長(上下水道課係長)馬場勇二▽荻支所地域振興課主幹兼市民係長(荻支所地域振興課主幹兼係長)小出紀美子▽荻支所地域振興課主幹兼産業建設係長(農政課畜産振興室主幹兼係長)安南泰彦▽久住支所地域振興課産業建設係長(併)久住学校給食共同調理場次長(上下水道課生活排水係長)中村祐二▽直入支所地域振興課主幹兼市民係長(併)生涯学習課直入教育係長(併)直入学校給食共同調理場次長(直入支所地域振興課主幹兼人権・同和对策課係長)併)直入学校給食共同調理場次長(併)選挙管理委員会直入支所次長)橋本一彦▽直入支所地域振興課主幹兼産業建設係長(併)直入学校給食共同調理場次長(直入支所地域振興課主幹兼産業建設係長)併)生涯学習課直入教育係長(併)直入

学校給食共同調理場次長)工藤賢稔▽学校教育課主幹兼教育指導係長(保険健康課主幹兼管理係長)峯野憲司▽生涯学習課主幹兼スポーツ振興係長(高齢者福祉課主幹)甲斐正寿▽生涯学習課久住教育係長(文化政策課文化政策係長)江渡孝行▽議公事務局主幹兼庶務係長(市民課主幹兼市民係長)武内恵▽監査事務局庶務係長(併)選挙管理委員会事務局選挙係長(監査事務局(併)選挙管理委員会事務局)藤原みどり

■一般

▽総務課(消防署久住分署)阿部晋一郎▽総務課(上下水道課)吉川沙央里▽企画情報課(農政課)高橋英明▽文化政策課(企画情報課)関口恵介▽文化政策課(企画情報課)舞希▽財政課(税務課)渡辺文彦▽税務課(社会福祉課)羽田野巨▽税務課(農政課)吉野秀樹▽税務課(久住支所地域振興課)渡部泰彦▽税務課(高齢者福祉課)佐田裕美▽税務課(秋支所地域振興課)山村啓太郎▽保険健康課(秋支所地域振興課)渡部綾▽保険健康課(直入支所地域振興課)木津史恵▽保険健康課・後期高齢者医療広域連合派遣(社会福祉課)柚木玲奈▽社会福祉課(農政課)磯野俊彦▽社会福祉課(上下水道課)渡部夕樹▽社会福祉課(総務課)繁野加奈▽社会福祉課(保険健康課)首藤理恵▽社会福祉課兼保険健康課(保険健康課)牛尾公一▽高齢者福祉課(農政課)大窪孝幸▽高齢者福祉課(税務課)後藤千鶴▽高齢者福祉課(文化政策課)筒井綾▽農政課(農林整備課)井出剛▽農政課(生涯学習課)進啓大▽農政課(久住支所地域振興課)岩本哲尚▽農政課畜産振興室(社会福祉課)渡邊一義▽農林整備課

(兼)大野川上流地域維持管理協議会事務從事農林整備課 佐藤光裕▽農林整備課(商工観光課)後藤祥司▽商工観光課(兼)竹田市観光ツーリズム協会事務從事(商工観光課)島村育郎▽商工観光課(社会福祉課)後藤紫織▽建設課(上下水道課)安達隆文▽建設課(税務課)足立啓樹▽都市デザイン課(総務課)森敦史▽都市デザイン課(建設課)一森裕次▽上下水道課(直入支所地域振興課)衛藤勝幸▽上下水道課(農林整備課)上野裕美▽会計課(高齢者福祉課)鳴川晴美▽秋支所地域振興課(社会福祉課)内川充枝▽久住支所地域振興課(税務課)山本美幸▽直入支所地域振興課(保険健康課)児玉寛子▽教育総務課(会計課)橋爪美紀▽生涯学習課(税務課)工藤良次▽農業委員会事務局(保険健康課)後期高齢者医療広域連合派遣)津曲美香

■平成30年3月31日付退職

▽井上隆明(人権・同和对策課長)▽工藤英信(会計管理者兼会計課長)▽古荘弘幸(農政課畜産振興室長)▽後藤治一郎(竹田中央学校給食共同調理場長兼久住学校給食共同調理場長兼直入学校給食共同調理場長)▽高橋はつみ(竹田保育所主幹保育士)▽甲斐孝二(会計課契約検査室長補佐)▽井手勝隆(都市デザイン課)

■平成30年4月1日付新採用

▽佐藤悠香(税務課)▽佐藤諒(高齢者福祉課)▽安藤稔真(農政課)▽白石誠志郎(上下水道課)

竹田市消防本部・消防署人事異動

【平成30年4月1日付 ()内は旧役職】

■消防本部・課長

▽消防長・任消防司令長(消防本部次長兼庶務課長・消防司令)大塚正三▽消防本部次長兼庶務課長兼警防課長・消防司令(消防署長・消防司令)志賀和吉

■消防本部・係長

▽庶務課消防団係長・消防司令補(消防署救助係長兼当直長・消防司令補)内那洋介▽警防課警防係長兼危険物係長兼予防係長・消防司令補(消防署消防調査係長兼当直長・消防司令補)中村良太

■消防本部・一般

▽庶務課付(市長部局出向)・任消防司令補(久住分署救急係・消防士長)阿部晋一郎▽警防課危険物係・任消防司令補警防課危険物係・消防士長)内川大地

■消防署・課長

▽消防署長・消防司令(防災危機管理官(併)消防本部付課長補佐・消防司令)佐藤浩和▽消防署参事兼久住分署長・消防司令(久住分署副分署長・消防司令)飯田精華

■消防署・係長

▽救助係長兼当直長・消防司令補(消防本部庶務課消防団係長・消防司令補)岩屋英明▽消防調査係長兼当直長・消防司令補(消防調査リーダー)・消防司令補(工藤幸司)▽通信係長・消防司令補(通信リーダー)・消防司令補(井野隆二)▽久住分署消防救急

係長兼当直長・消防司令補(久住分署消防係・消防司令補)畑山宗徳

■消防署・一般

▽消防署救助係・任消防司令補(久住分署・消防士長)塩谷一郎▽久住分署・消防士長(消防署救助係・消防士長)大塚省吾▽久住分署・消防士長(消防署救助係・消防士長)森慎一郎▽消防署救助係・消防士長(久住分署・消防士長)廣岡幸三▽久住分署・任消防士長(消防署救急係・消防副士長)足立圭太▽久住分署・消防副士長(消防署救助係・消防副士長)後藤健介▽消防署救急係・任消防士長(消防署救急係・消防副士長)堀真介▽消防署救急係・消防副士長(消防本部庶務課付・消防副士長)佐藤愛朗▽消防署救急係・消防副士長(久住分署・消防副士長)一ノ宮亮▽消防署救急係・消防副士長(久住分署・消防副士長)吉川両介▽久住分署・消防副士長(消防署救急係・消防副士長)志賀篤▽消防署救急係・消防副士長(久住分署・消防副士長)内田佳佑▽久住分署・任消防副士長(消防署通信係・消防士)隅康一郎▽久住分署・任消防副士長(久住分署・消防士)姫野孝彰▽消防署救助係・任消防副士長(久住分署・消防士)加藤誠也▽久住分署・消防士(消防署救急係・消防士)狩生俊朗

■平成30年3月31日付退職

▽工藤忠孝(消防長)▽工藤敦(消防本部次長兼警防課長)

■平成30年4月1日付新採用

▽飛瀬賢歩(消防本部庶務課付・任消防士)



第31回岡の里名水マラソン大会 早春の名水路を駆け抜ける!

3月4日、名水路に春を告げる「第31回岡の里名水マラソン大会」が竹田市総合運動公園陸上競技場をスタート・フィニッシュとするコースで開催。フルマラソン、ハーフマラソン、10キロ、史跡めぐりウォークの4種目に市内外から1619人がエントリーしました。

開会式では、今大会のゲストランナーで、竹田市宮城出身のシンガーソングライター古澤剛さんが「アップダウンが多いコースだが、名水や景色が皆さんを癒してくれる。思い思いのペースで大会を楽しみましょう」とエール。

祖母山系の麓のコースを、地元の人とのふれあいを楽しみながら走っていました。フルマラソン全体のトップでゴールした西村智治さん(熊本県)は「風光明媚なコースで走っていて気持ちよかったです。給水所でのおもてなし、家の前で声援をくれる方や子どもたちの太鼓での応援……地元の愛がたっぷりだったすばらしい大会でした」と話してくれました。



①今大会のゲストランナーの古澤剛さん。竹田高校の生徒と
②沿道の皆さんの応援と心温まるおもてなし ③手を繋いで仲良くフィニッシュ!

春季県体第60回記念県内一周大分合同駅伝

竹田市チームが総合4位に躍進



↑総合4位に輝いた竹田市チームの皆さん

2月19日から23日まで行われた春季県体第60回記念県内一周大分合同駅伝競走大会で、竹田市チームが昨年の総合8位からジャンプアップし、4位に輝きました。

竹田市チームは初日を11位でスタートしたものの徐々に順位を上げ、最終日は日間3位でフィニッシュ。見事総合4位に入り、2年ぶりのA部復帰を果たしました。また、個人では山田泰史選手が3つの区間賞を獲

牧野の防火帯でラリー

3月17日、竹田市久住町の岳麓寺牧野で、「第4回湯布院ラリー3デイズ2018」が開催されました。

「牧野組合員の高齢化等が進み、野焼きの延焼を防ぐ防火帯の維持管理に苦勞している。草の伸びを抑制させるために、防火帯にオートバイを走らせてみたい」と、岳麓寺牧野組合の麻生賢志組合長が発案、大会関係者に相談し実現したもので、この日のレース約378キロのうち一部に牧野内の約3キロのコー



↑牧野の防火帯をオートバイで走る参加者

スで行われました。全国各地から参加した49人は起伏の激しい牧野のコースを疾走。「くじゅう連山や阿蘇山を眺望できる絶好のロケーションのコース」と参加者から好評を得ていました。



吉野純子さんが 県内最高位の 快挙!

3月1日、全国和牛登録協会大分県支部による和牛登録審査が直入審査棟で行われ、吉野純子さん(直入)の「ふみあかり号」が、これまでの県内の最高位として後藤克寿さん(荻)が保持していた89・3点を更新する89・5点を獲得する快挙を達成しました。

全共の功績を称えて

昨年9月に開催された第11回全国和牛能力共進会(全共)では、第4区の佐藤忠直さん(竹田)、



↑記念碑の設置を喜ぶ出品者の皆さん

森田孝子さん(直入)、清水康博さん(久住)、安藤直樹さん(朝地町)が内閣総理大臣賞を獲得、第2区の後藤克寿さん(荻)が優等2席を受賞しました。

その功績を称える記念碑が豊後豊肥家畜市場の敷地入口に設置され、3月12日に関係者が出席し除幕式が行われました。出品者を代表して挨拶をした佐藤忠直さんは「(碑の設置に)嬉しい気持ちでいっぱい。今回の経験を次に伝えたい」

次回大会は2022年に鹿児島県で開催。連続日本一に向けた取り組みが始まります。

大蘇ダムを生かして6次産業化を推進

竹田市と熊本県阿蘇市、産山村に農業用水を供給する大蘇ダム。平成32年4月からの供用開始に向け、豊かな地域資源を生かした商品開発や販路拡大、雇用の創出等を目的とした『大蘇ダムの水で6次産業化を進めよう』シンポジウムが3月10日、竹田市菅生の「道の駅すこう」で開催されました。

荻や菅生地域の農業関係者など約70人が参加。講演では農水産物の加工品開発や販売支援等



↑商品開発のプロセスについて説明する講師のイワモト企画の岩本礼二代表

を手掛けるイワモト企画(大分市)の岩本礼二代表が、「商品のコンセプトやターゲットを明確にすること、原材料の差別化を図り、パッケージデザインやネーミングを商品イメージに合致したインパクトのあるもの」と、参加者にアドバイスしました。

竹田水害緊急治水ダム建設事業市民説明会 一刻も早い玉来ダムの完成を

玉来ダムの本体工事着工後、初の開催となる「竹田水害緊急治水ダム建設事業市民説明会」が2月25日、市役所会議室で行われました。

この事業は昭和57年と平成2年の水害を契機に、玉来川と稲葉川の上流域にダムを建設する事業で、平成12年度に河川改修が完了、平成22年度に稲葉ダムが完成していますが、平成24年の九州北部豪雨では玉来川流域で甚大な被害が発生。住民から玉来ダムの早期完成を求める声が上がっています。

現在工事が進められている玉来ダムは堤高が52メートル、堤頂部の長さが145メートルの重量式コンクリートダムで、洪水調節を目的とした治水専用の流水型ダム。昨年7月に起工式を行い、平成34年度までの完成を目指しています。

説明会には市民ら約40人が参加。ダムの建設現場では、担当者からダムの完成による治水効果や建設地の複雑な地質

に対応するための工法などの説明を受けました。

市民の安心安全な生活を守るため、玉来ダムの早期完成が求められます。



↑工事が進む玉来ダムの建設現場を見学する市民の皆さん

平成28年4月の熊本・大分地震で石垣にずれが生じた国指定史跡岡城跡で3月4日、復旧工事見学会が行われました。



国指定史跡岡城跡 復旧工事の状況を説明

地震で被害を受けたのは、本丸跡と下原門跡の石垣。市では国や県の支援を受け、平成29年から本格的な工事に着手しています。下原門西櫓跡では石垣を解体したうえで、破損した石を取り換えて積み直す工事を行い、加えて水はけをよくするための栗石を詰めています。

市職員から復旧状況の説明を受けた市民ら約50人からは、早期の復旧を望む声が上がっていました。

平成30年度は残った下原門東櫓跡と本丸跡の工事に取り掛かります。

2月24日、荻町「陽目の里」でハナモモの苗木の植樹が行われました。参加者の皆さんは、展望台や白水の滝へ向かう遊歩道沿いに苗木100本を植樹。今春には艶やかなピンクや赤色の花をつけるそうです。



↑参加した陽目の里環境を守る会や大野川源流祭り実行委員会の皆さん

『陽目の里』に賑わいを!



↑受賞した宮城台小学校の児童の皆さん

第31回福祉優秀校・大分合同新聞賞 宮城台小が受賞

秋の合同運動会や敬老福祉・食彩まつりは、地域と一体になる行事として定着。特に食彩まつりでは、児童が収穫した米やピオーネなどを使った料理が来場者に振る舞われ、とても喜ばれています。

福祉教育に熱心な学校を表彰する「福祉優秀校・大分合同新聞賞」の第31回受賞校に宮城台小学校が選ばれました。市内12の小学校の中で最も少ない児童数の宮城台小学校。豊かな自然に囲まれ、地域に根ざした学校として、地域交流や世代間交流に積極的に取り組んで

「宮城地区を元気に」―児童たちの活動が地域を明るく照らしています。



↑「竹8シネマプロジェクト絶賛進行中」

←広報たけた5月号表紙

平成29年度大分県広報コンクール 広報写真(1枚写真)と映像で特選

広報たけた5月号の表紙と、たけたケーブルテレビが制作した「竹8シネマプロジェクト絶賛進行中」が審査の結果、特選に入賞しました。

今後よりよい紙面・番組づくりに努めていきます。

全国車いす駅伝 河室隆一さんが優勝に貢献

3月11日に京都市で行われた「第29回全国車いす駅伝競走大会」で、県選抜チームが2連覇を飾りました。

チームの主将で4区(5.8キロ)を任されたのは、竹田市出身の河室隆一さん(44歳・ホンダ太陽)。河室さんは区間賞を獲得する走りでトップに立つとそのまま独走態勢を築き、優勝に大きく貢献しました。「相手は国内のトップ選手。抜けるとは思わなかったが、4年連続して同じ区間を走った経験がレースに生きた」と河室さん。

37歳のときに不慮の事故で車いす生活に。リハビリで始めた車いす陸上の競技歴は7年になるそうです。現在は多いときで1日に40キロ、週6日の練習を重ねながら、ひと月に1回のペースで国内外のレースに参加しています。

「次は3連覇を狙いたい。また2020年の東京パラリンピックの出場を目指すとともに、皆さんにパラスポーツの魅力を伝えていきたい」と意気込みを話してくれました。



↑2連覇を果たした県選抜チーム(前列左から2番目が河室隆一さん)

第49回大分県農業賞 渡辺喜久雄さん三枝子さん(久住)が受賞

大分県農業賞優秀賞〔企業の農業経営部門・個人の部〕に、渡辺喜久雄さん三枝子さん夫妻が輝きました。渡辺さんは平成25年に複合経営から肉用牛繁殖専門経営に転換し、現在では県内トップクラスの繁殖牛92頭まで規模を拡大。また、分娩監視システム等を導入し効率的な母牛管理を行い、牧野での放牧、採草など地域資源を活用した自給飼料生産による循環型農業を実践しています。

市和牛振興会会長、市クラスター協議会会長を歴任。地域の畜産振興に貢献したことにより今回受賞されました。



↑「(受賞は)がむしやらに働いてきた結果。周りの方々の温かい支援に感謝しています」と渡辺喜久雄さん・三枝子さん

警察庁犯罪被害者支援室長賞に

花籠拓海さん

(三重総合高等学校久住校)

警察庁が主催する「第7回命の大切さを学ぶ教案全国作文コンクール」の高校生の中で、大分県立三重総合高等学校久住校2年の花籠拓海さんが警察庁犯罪被害者支援室長賞を受賞しました。

じめを経験。作文にはそのときの様子や花籠さんが感じた思いを綴っています。「いじめられている側は、自分から声を発することが難しい。周囲が気づいて声を掛け、手を差し伸べてくれることが大切。いじめられている人も勇気を出して声を上げ、周りに助けを求めてほしい」と話してくれました。

等の講演やDVDを視聴する「命の大切さを学ぶ教室」を受講した中高生から約7万点の応募がありました。



↑賞を受賞した花籠拓海さん

名水、高原、ヒトの愛。

竹田市が育む、たおやかで 滋味深い作物たち。

第10回
しいたけ

うっそうと茂る森に広がる椎茸畑。交互に組まれたクヌギの原木は春時雨に濡れ、椎茸たちがプツクリ顔を出す。

原木干し椎茸の量も質も日本一を誇る大分県。中でも竹田市は、江戸時代に岡藩が椎茸栽培を奨励していたという記述があるほど歴史が古く、椎茸栽培に適した環境が整う。

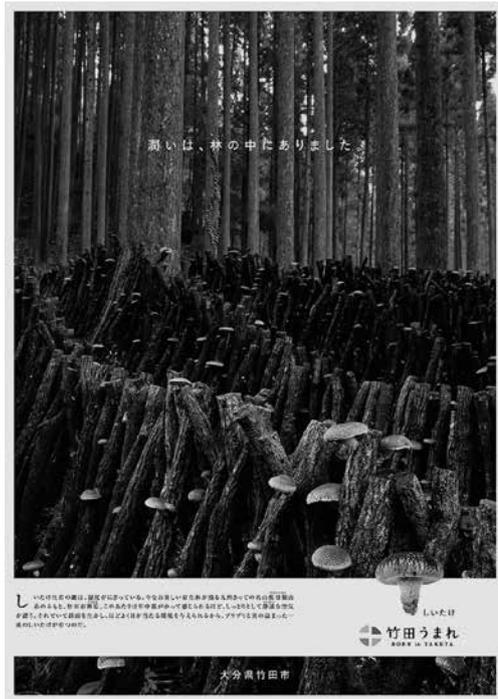
春に発生する椎茸は「春子」と言われ、みずみずしく、ずっしりと重い。椎茸の旨味も栄養価が高いのも森の養分をたっぷり含んでいるからこそ。

今回は森のダイヤと言われる

椎茸を栽培する若手生産者を紹介します。

◆ ◆ ◆
竹田市倉木の渡邊智さん(36)。

10年前に帰郷し、祖母山の麓で椎茸栽培を行っている。「祖父が守ってきた山林を引き継いで、椎茸栽培を始めようと思った」と渡邊さん。農業大学に通い、栽培技術を習得するとともに、祖父からも椎茸菌を植え付けた原木を組み伏せ、菌を培養させる伏せ込みなどの栽培方法を学んだ。現在は、山林での露地栽培とハウス栽培の2つの方法で、収穫期をずらして年間約800キ



「竹田うまれ」…竹田で育まれた7種類の作物を紹介
<https://www.city.taketa.oita.jp/taketaumare/>



↑「椎茸生産を維持していきたい」と話す渡邊さん

口を収穫する。

椎茸生産を取り巻く環境は厳しい。「中国産の椎茸の輸入で価格が下がったうえに、東日本大震災や阿蘇山の噴火による風評被害で、多くの生産者が辞めていった」

◆ ◆ ◆
そのような中、渡邊さんは大分県椎茸農業協同組合の組合員になり、部会にも積極的に参加している。「自分たち若い世代の発言が組織の維持や活性化につながれば」と話す渡邊さん。「今後10年は品質のよい椎茸の生産を基本に、量と質のバランスを考えた経営をしていきたい」と冷静に先を見据える。

◆ ◆ ◆
直入町で椎茸農家を営む岩下拓司さん(34)と侑平さん(32)。元アパレルメーカーの店長、美容師という肩書を持つ兄弟だ。「高齢化が進む椎茸農家の現状を知ったとき、特産の椎茸を



↑「椎茸でまちに活気を！」と意気込む兄の拓司さん(左)と弟の侑平さん(右)

自分たちで作りたい」と決意し、5年前に帰郷、原木椎茸の栽培を始めた。栽培を始めた頃は、「クヌギの切り出しや駒打ち作業など体力的にきつかった。弟と『いい椎茸を作ろう』と話しながら乗り越えてきた」
現在は2ヘクタールの山林に年間20万を駒打ちし、約1トンの椎茸を収穫する。
「多くの人に有機栽培の椎茸のよさを知ってもらい、身近に感じてもらいたい」と地元でカフェやインターネットを通じた販売も手掛ける。今後は自家栽培の椎茸を使った「椎茸茶」をメニューに加える予定という。「竹田ブランドを維持できるように生産量を増やしたい」と侑平さん。拓司さんは「家族向けに椎茸の駒打ち体験ツアーを企画するなど、まちに活気を呼び込みたい」と意気込みを語ってくれた。

第10回竹田市乾椎茸品評会 出品者を募集しています

乾椎茸の品質と生産性、また生産者の経営向上を図るため、第10回竹田市乾椎茸品評会を開催します。

品評会は800グラムの部(天白冬菇・茶花冬菇・上冬菇・香菇・香信の5部門)と、400グラムの部(冬菇・香菇・香信の3部門)で審査が行われます。

会員の方の多くの出品をお待ちしています。また、生産者の丹精込めた乾椎茸をぜひ会場でご覧ください。

審査会 4月16日(月) 午後2時

(大分県椎茸農業協同組合竹田支部)

表彰式 4月18日(水) 午前10時
(竹田市総合社会福祉センター)

大分県椎茸農業協同組合竹田支部
電話 03-3167
竹田市農政課 電話 03-4805



↑昨年の品評会の様子

木 THU 金 FRI 土 SAT 2018年(平成30年)

5 ・竹田温泉「花水月」休館日	6	7 ・岡城桜まつり協賛第39回ゲートボール大会 8:30～(竹田市総合運動公園多目的広場)
12 ・竹田温泉「花水月」休館日	13 ・献血 15:30-16:30(久住公民館機能回復訓練室)	14
19 ・竹田温泉「花水月」休館日 ・こころの健康相談 13:30-15:30 (荻支所) ☎63-3346(竹田市中心の相談支援事業所) ※要予約(相談日の前日午前中まで) ・精神保健福祉相談 14:00-16:00 (大分県豊肥保健所) ☎0974-22-0162(豊肥保健所) ※要予約	20	21 ・第25回B&G財団会長杯争奪直入カップバレーボール大会 9:00～開会式(竹田市直入B&G海洋センター体育館)
26 ・竹田温泉「花水月」休館日 ・大分県交通事故巡回相談 10:00-15:00 (大分県豊肥振興局) ☎63-1171(豊肥振興局) ※要予約 ・「荻神社」ゆたて 12:00～(荻神社・荻町新藤) ・5歳児健診 13:00～受付(竹田市総合社会福祉センター) ・こころの健康相談 13:30-15:30(久住保健センター) ☎63-3346(竹田市中心の相談支援事業所) ※要予約(相談日の前日午前中まで)	27	28

今月のよりそいカフェ (認知症予防カフェ)

【竹田】
・4月6日・20日(金) 13:30-15:30 古町商栄会

【荻】
・4月10日・24日(火) 13:00-15:00 荻「しらみず」

【久住】
・4月10日(火)・26日(木) 13:00-15:00 久住「りんどう」

【直入】
・4月13日・27日(金) 13:00-15:00 直入「ゆのはな」

【竹田北部「双城」】
・4月5日・12日(木) 13:00-15:00 出合いの湯

【竹田南部「あけぼの」】
・4月4日(水) 13:00-15:00 入田分館
・4月10日(火) 13:00-15:00 姫岳分館
・4月18日(水) 13:00-15:00 宮砥分館

【都野】
・4月4日(水) 13:30-15:30 くたみたきのう館
・4月21日(土) 13:30-15:30 グループホームくたみのもり

平成30年度年金相談案内 (完全予約制)

年金相談が、毎月第3水曜日の午前10時～午後3時まで竹田市高齢者いきいき交流センターで行われます。

相談日	
4月18日(水)	5月16日(水)
6月20日(水)	7月18日(水)
8月15日(水)	9月19日(水)
10月17日(水)	11月21日(水)
12月19日(水)	1月16日(水)
2月20日(水)	3月20日(水)

☎大分年金事務所お客様相談室(土・日・祝日を除く)
☎097-552-1211
※音声案内が流れます。最初は「1」番、続いて「2」番を押してください。
※予約の際には、基礎年金番号のわかるものをご用意ください。

【今月の行政なんでも相談所】

地域	相談日	時間	開催場所
竹田	4月18日(水)	10:00～12:00	竹田市総合社会福祉センター 相談室
荻			荻公民館 幼児室
久住			久住公民館 健康相談室
直入			直入支所 小会議室

※行政なんでも相談に関するお問い合わせは、行政相談委員まで「困ったら一人で悩まず行政相談！」

〔竹田〕 阿南 茂 ☎67-2608
〔荻〕 佐藤 孝幸 ☎68-3510
〔久住〕 本郷 俊一 ☎76-1304
〔直入〕 児玉 龍明 ☎75-2426

人権なんでも相談所を開設しています

人権擁護委員が無料で相談に応じます。秘密は固く守られます。

日時 毎週火曜日の午前9時から午後4時まで(祝日を除く)

場所 大分地方方法務局竹田支局
☎竹田人権擁護委員協議会 (大分地方方法務局竹田支局内) ☎62-2315

感電事故防止のお願い

鯉のぼりの季節になりました。感電事故防止のため、電線付近での鯉のぼりの掲揚や釣りは絶対に行わないようお願いします。

なお、万一鯉のぼりや釣り糸が電線にかかった場合は、自分で取ろうとせず、お近くの九州電力までご連絡いただきますようお願いいたします。

☎九州電力株式会社 ☎0120-986-505



日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED
1	<ul style="list-style-type: none"> 岡藩鏡処刑場鎮魂祭 8:30～(鏡処刑場) 第70回岡城桜まつり 10:20～オープニングセレモニー(岡城跡中川但見屋敷跡) 11:00～第44回大名行列/11:30～甲冑武者行列(岡城跡～竹田城下町) 第6回宮城の里しだれ桜祭り 11:00～(宮城分館及び分館駐車場) 	2	<ul style="list-style-type: none"> 荻の里温泉休館日 【納期限】国民健康保険税12期 	3	<ul style="list-style-type: none"> おはなしひろば 10:30-11:00(竹田市立図書館おはなしひろば) こころの健康相談 13:30-15:30(直入支所) ☎63-3346(竹田市心の相談支援事業所) ※要予約(相談日の前日午前中まで) 第4回竹田市農業委員会総会 15:00～(市役所本庁3階会議室5) 	4	<ul style="list-style-type: none"> 陽目の里「名水茶屋」休業日 水の駅おづる休業日
8		9		10	<ul style="list-style-type: none"> おはなしひろば 10:30-11:00(竹田市立図書館おはなしひろば) 	11	<ul style="list-style-type: none"> 陽目の里「名水茶屋」休業日
15		16	<ul style="list-style-type: none"> 荻の里温泉休館日 	17	<ul style="list-style-type: none"> おはなしひろば 10:30-11:00(竹田市立図書館おはなしひろば) 	18	<ul style="list-style-type: none"> 温泉療養文化館「御前湯」休館日・長湯おんせん市場休業日 陽目の里「名水茶屋」休業日 奥豊後の石造物めぐり① 9:00までに市役所駐車場集合 会費1,000円 ☎62-4100(竹田創生館) もぐもぐ教室 9:30～受付(竹田市総合社会福祉センター) 竹田市乾椎茸品評会表彰式 10:00～(竹田市総合社会福祉センター) 年金相談「完全予約制」 10:00-15:00(竹田市高齢者いきいき交流センター) ☎097-552-1211(日本年金機構大分年金事務所) 大分県行政書士無料相談会 13:00-16:00(大分県行政書士会(大分市)) ☎097-537-7089(大分県行政書士会事務局)
22	<ul style="list-style-type: none"> 大分合同新聞社旗争奪第50回荻地域自治会対抗ソフトボール大会 9:00～開会式(荻小学校グラウンド) ※試合会場は荻小学校グラウンド・荻福祉健康エリアグラウンド 	23		24	<ul style="list-style-type: none"> おはなしひろば 10:30-11:00(竹田市立図書館おはなしひろば) こころの健康相談 13:30-15:30(竹田市総合社会福祉センター) ☎63-3346(竹田市心の相談支援事業所) ※要予約(相談日の前日午前中まで) 	25	<ul style="list-style-type: none"> 陽目の里「名水茶屋」休業日 1歳6か月児健診 13:00～受付(竹田市総合社会福祉センター)
29	<p>昭和の日</p> <ul style="list-style-type: none"> 第36回久住山岳滑翔大会 10:00～開会式(久住滑空場・中部牧野[久住町白丹])～5/4(金)まで 	30	<p>振替休日</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土の自然に親しみ植物を観察する会「春の奥山(尾平越)」 8:00までに市役所駐車場集合 ☎62-4100(竹田創生館) 	<h3>第30回大野川源流祭り</h3> <p>大分の母なる川「大野川」の水の恵み・大地の恵みに感謝する「大野川源流祭り」を、大野川の源流・白水の滝周辺において開催します。</p> <p>当日は、エノハのつかみ取り、歌謡ショー、春のリゾート、食のパザーなど、たくさんのイベントで皆さんのお越しをお待ちしています。</p> <p>日時 5月3日(休) 午前10時～午後3時 場所 陽目の里キャンピングパーク(荻町陽目) 大野川源流祭り実行委員会(竹田市荻支所地域振興課内) ☎68-2211</p>			

◆2018年5月上旬の主な予定

- 5月1日(火) 【納期限】 固定資産税(全納・1期)、国民健康保険税(全納・1期)
 - 大船山・入山公廟観光登山バス運行開始式 9:00～(久住高原パルクラブ)
- 5月3日(木)
 - 第30回大野川源流祭り 10:00-15:00(陽目の里キャンピングパーク・荻町陽目)
 - 第62回祖母山山開き 11:30～山頂祭、終了後バンダナ配布(祖母山山頂) ※少雨決行
- 5月5日(土)
 - 殉空之碑追悼法要 10:00～(殉空之碑前広場・竹田市平田6137)
- 5月6日(日)
 - 郷土の自然に親しみ植物を観察する会「初夏の田井の祖母山系中腹」 8:00までに市役所駐車場集合 ☎62-4100(竹田創生館)
- 5月12日(土)・13日(日)
 - 第52回九州高校女子ソフトボール選手権大会 8:30～試合開始(竹田市総合運動公園市民球場・多目的広場、飛田川野球場)

月間・その他

- 未成年者飲酒防止強調月間
- みどりの月間
- 科学技術週間 (4/17～23)
- 緑の募金 (~5/31)



たけたん 情報 4月号

医療・福祉

後期高齢者医療制度の障がい認定申請受付を行います

65歳から74歳の方が後期高齢者医療制度の障がい認定を受ける際の申請受付は、竹田市保険健康課で行いますので、次のものをご持参のうえ手続きをしてください。

○印鑑

○障がいの程度が確認できる書類(障がい者手帳など)

○本人確認証明(運転免許証など本人と確認できるもの)及びマイナンバー(個人番号)が確認できる書類(通知カード等)

※障がい認定を受けた方は、認定後も75歳になるまでは届出により、将来に向かって撤回することができません。なお、撤回後は国民健康保険、社会保険等に

加入することになります。

●竹田市保険健康課国保・高齢者医療係 ☎63-1111(内線179) 大分県後期高齢者医療広域連合 ☎097-534-1771(代表)

年1回の健康診査を受けましょう

大分県後期高齢者医療広域連合の行う健康診査は、糖尿病等の生活習慣病を早期発見、早期治療するために行われます。健康管理のために年1回の健康診査を受けましょう。

対象者 大分県後期高齢者医療の被保険者

※かかりつけのお医者さんで生活習慣病の診療を受けている方、平成30年度中に健康診査またはそれに相当する健康診査を受診する方は、必ずしも受ける必要はありません。

健診項目

問診、身体計測、血圧測定、尿検査(糖・蛋白)、血中脂質検査(中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール)、血糖検査(空腹時血糖またはヘモグロビンA1c)、肝機能検査(GOT・GPT・γ-GTP)、腎機能検査(血清クレアチニン及びeGFR)

日程・場所 お住まいの市町村が行う住民健診と同じ日程・会場または広域連合の指定医療機関(委託している病院等)のいずれかで受診可能

持参するもの 大分県後期高齢者医療の被保険者証(保険証)と、広域連合より4月中に送付される健康診査受診券(桃色のはがき)

※被保険者証や健康診査受診券を忘れたり、紛失したりすると、健康診査を受診できない場合がありますので、お手元がない場合は広域連合または竹田市保険健康課国保・高齢者医療係にお問い合わせください。

費用 健康診査にかかる費用は年1回のみ無料

●大分県後期高齢者医療広域連合事務局 ☎097-534-1771 竹田市保険健康課国保・高齢者医療係 ☎63-1111(内線178-179)

はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧施設の利用助成

はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧の施術に対する助成制度があります。

対象者 市内に住所を有し、満65歳以上の方

助成内容 施術1回につき千円の施設利用証で利用可能。ただし、1人につき年6回以内

申込方法 竹田市高齢者福祉課(竹田市総合社会福祉センター内)、または各支所地域振興課に備え付けの申請書に記入・押印の後、施設利用証を交付

●竹田市高齢者福祉課 ☎63-4809

荻支所地域振興課 ☎68-2211

久住支所地域振興課 ☎76-1111

直入支所地域振興課 ☎75-2211

消費者行政

契約とクーリング・オフ

「契約」とは、法的な拘束力を持つ約束のことです。書面にする必要はなく、お互いの合意があれば口約束でも成立し、いったん契約が成立すると一方の都合で解消することはできません。ただし、「訪問販売」や「電話勧誘販売」など、特定の取引形態で契約をした場合に限り、一定の期間内であれば無条件に契約を解消することができるクーリング・オフという制度があります。

す。これらの取引形態で契約したときは、契約書を受け取ってから8日間は無条件で契約を解消できます。

なお、このクーリング・オフは書面で通知する必要があるの、ハガキにクーリング・オフする旨を記載し「簡易書留」など証拠の残る形で販売業者に送付しましょう。

●竹田市市民課窓口(竹田市消費生活センター) ☎63-4834 午前8時30分～午後5時(月～金 平日のみ)
大分県消費生活・男女共同参画プラザ(アイネス) ☎097-534-0999

税金

竹田市税等「口座振替キャンペーン」を延長します

2月からのキャンペーンが好評につき、5月31日まで延長します。

新規または追加で市税等の口座振替を申し込まれた方には、竹田市家庭用指定ごみ袋の可燃ごみ用1ロール(大サイズ10枚)をプレゼントします。この機会に、便利な口座振替を利用しませんか。

対象税目 市県民税(普通徴収)・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税(普通徴収)・介護保険料(普通徴収)・後期高齢者医療保険料(普通徴収)

申込方法 竹田市税務課、各支所または最寄りの金融機関窓口
に次のものを持参し、備え付けの口座振替依頼書に記入のうえ提出してください。申し込みを受け付け後、指定ごみ袋をお渡しします。

手続きに必要なもの 通帳・通帳用の印鑑

※口座振替依頼書(税務課、各支所、金融機関に備え付け)
※登録したい税目がわかる納付通知書または領収書(金融機関で手続きの場合のみ)

注意事項 口座振替依頼書は、1人につき1枚

※共有名義の場合は筆頭者(代表者)

※納税管理人が設定されている場合は納税管理人

対象外となる場合 口座振替の中止、登録済みの金融機関や口座の変更、対象税目の課税がない場合

☎竹田市税務課管理係 ☎63-11111(内線121122)

募集

平成30年度竹田市高齢者大学の受講生募集

生涯学習課では65歳以上の学習意欲のある方を対象に、時事問題や一般教養、健康や文化歴史に関する学習会を開催します。竹田・久住・直入の地域ごとに3つの学級があり、年間3回合同学習会を行います。

受講を希望される方は電話でお申し込みください。

申込締切 4月20日(金)

開講式 5月18日(金)午前10時

☎竹田市教育委員会

- 生涯学習課 ☎63-4817
- 荻公民館 ☎68-2025
- 久住公民館 ☎76-0717
- 直入公民館 ☎75-2240

「介護労働講習」受講者募集

公益財団法人介護労働安定センターでは、介護労働者の雇用の安定、能力の開発・向上を図る目的で、より実践力を備えた介護人材の育成と介護福祉士国家試験に向けた受験資格の支援を図るため、実務者研修、実践講習、就職支援などで構成する『介護労働講習(実務者研修を含む)』を実施します。

講習期間 6月1日(金)～11月12日(月)

会場 大分市内

対象 介護分野への就職を希望する雇用保険受給資格者(受講指示者)

受講料 無料(テキスト代、講習保険料、健康診断料は実費)

申込締切 5月23日(水)

申込先 管轄のハローワーク
大分支部 ☎097-5381481

平成30年度「慰霊巡拝」のご案内

平成30年度における慰霊巡拝が、次の日程で予定されています。
実施予定時期・実施期間・募集予定人員は現段階の案であり、変更することがあります。

- ☎厚生労働省社会・援護局事業課事業推進室 ☎03-5253-1111(代表)
- 〈東部ニューギニア、ビスマーク諸島、パラオ諸島〉 事業第一係(内線3478)
- 〈旧ソ連地域、中国〉 事業第二係(内線3480)
- 〈硫黄島〉 事業第三係(内線3499)
- 〈北ボルネオ、ミャンマー、フィリピン〉 事業第四係(内線4536)

実施地域名	実施予定時期	実施期間	募集予定人員
アルタイ地方・ケメロボ州・ノボシビルスク州	8月25日(土)～9月4日(火)	11日間	15名
ハバロフスク地方	8月26日(日)～9月4日(火)	10日間	15名
中国東北地方	9月4日(火)～9月13日(木)	10日間	15名
イルクーツク州	9月9日(日)～9月18日(火)	10日間	15名
沿海地方	9月9日(日)～9月18日(火)	10日間	15名
東部ニューギニア(1班)	9月19日(水)～9月26日(水)	8日間	20名
東部ニューギニア(2班)			
北ボルネオ	9月26日(水)～10月2日(火)	7日間	15名
ビスマーク諸島	10月24日(水)～10月31日(水)	8日間	10名
ミャンマー	11月13日(水)～11月20日(水)	8日間	15名
パラオ諸島	1月23日(水)～1月30日(水)	8日間	15名
フィリピン(1班)	2月13日(水)～2月20日(水)	8日間	80名
フィリピン(2班)			
フィリピン(3班)			
硫黄島(1次) ※羽田空港発着	11月中旬	2日間	100名
硫黄島(2次) ※羽田空港発着	2月中旬	2日間	100名

「竹田学」の授業の講師を募集します

豊肥地区唯一の私立学校である学校法人稲葉学園竹田南高等学校では、社会でよりよく生きる力を育てる教育を目指しています。

本校では5月より、キャリア教育の一環として、「竹田学」の授業を行います。1年生または2年生を対象としたこの授業には、さまざまな分野で活躍されている方を講師としてお招きし、講話をいただきます。

講師を希望される方は、ぜひご連絡ください。

講話内容 「生き方」「働くとは」「どんなことか」「住みたい竹田」など、社会で生きる知恵につながる内容であれば、特に制限はありません。

講話回数 年間1回ないし2回
応募締切 4月20日(金)

※希望される方は、氏名・講話の内容をお知らせください。
※原則ボランティアとしてご支援いただきますが、旅費は支給します。

◎学校法人稲葉学園竹田南高等学校事務室(T878-0013)
竹田市大字竹田2509)

TEL 63-3223 FAX 63-1399

イベント

第21回九州女子サッカーリーグが開催されます

九州女子サッカーリーグ(Qリーグ)に加盟する女子サッカーチームのリーグ戦が4月から12月まで行われます。竹田市では、ヴェルスパ大分レディースの試合が次の日程で観戦できます。

期日 4月29日・7月1日・7月8日・9月23日・9月30日・10月28日(予定)

場所 竹田市総合運動公園陸上競技場 ※入場無料

◎ヴェルスパ大分レディース
TEL 090-5732-5281
(荒川)

試験

平成30年度第1回危険物取扱者試験

日時 6月24日(日) 午前10時
試験開始/午後2時 試験開始(大分大学のみ)

試験の種類 甲種・乙種(全類)・丙種

試験会場 県立三重総合高校他
県内6会場/大分大学会場は

(午前中)乙種4類を除くすべて(午後)乙種4類のみ

願書の配付 竹田市消防本部・県内各消防本部(局)・(二財)消防試験研究センター大分県支部・県消防保安室

◎願書の受付

電子申請 4月10日(火)~23日(月)

※24時間受付

書面申請 4月13日(金)~26日(木)

※月~金曜日(午前9時~午後5時)

願書提出先 (一財)消防試験研究センター大分県支部

◎(一財)消防試験研究センター大分県支部
TEL 097-5371-0427
竹田市消防本部警防課 TEL 63-0119

森林管理

違法伐採から山林を守りましょう

隣県の宮崎県で森林の盗伐の事例が報道されています。市においても森林所有者の高齢化や不在村化が進んでいることから、盗伐の発生が危惧されます。森林を所有されている方につきましては、ご自身の山林の管理をお願いします。

地域森林計画の対象となつて

いる民有林の立木の伐採や間伐を行う場合は、森林法の規定により届出や許可が必要となります。また、相続や売買などで森林の土地の所有者が変更になった場合も、森林の土地の所有者届が必要で

◎竹田市農政課林業振興室
TEL 63-4805

海外研修交流

「小学生から高校生のための夏休み海外研修交流事業」参加者募集

海外でのさまざまな体験交流を通して、国際感覚を養うことを目的に海外研修交流の参加者を募集しています。

内容 ホームステイ・英語研修・文化交流・地域見学・野外活動等

研修国 アメリカ・イギリス・オーストラリア・カナダ・スペイン・シンガポール・フィジー・フィリピン

日程 7月26日(木)~8月16日(木)のうち8~18日間

対象 小学3年生~高校3年生

参加費 24・8~59万円
申込締切 5月22日(火)及び6月8日(金)

※日程、対象、申込締切日はコースにより異なります。

●公益財団法人国際青少年研修協会（〒141-0031 東京都品川区西五反田7-15-4）

☎03-6417-9721
FAX 03-6417-9724

《毛布収集キャンペーン》

アフリカの人々は厳しい自然環境の中、内戦や紛争、自然災害等により命や家を失うなど、過酷な状況におかれています。たとえ一枚でも、アフリカの人々の心と体を温かく包むかけがえのない毛布となります。皆さまのご協力をお願いします。

参加方法

①毛布十海外輸送協力金（1枚あたりの送料 千円）

②海外輸送協力金のみ

●明るい社会づくり運動（担当・植田）☎097-543-5838

相談会

第7回無料法律相談会

借金問題でお悩みの方、過払

い金返還請求をお考えの方。大分県無料法律相談でおなじみの鈴木イチロー司法書士事務所が、竹田市で7回目となる相談会を開催します。相続などのお悩みも受け付けておりますので、皆さまお気軽にご相談ください。

日時 5月12日(土) 午前9時～午後9時

場所 竹田商工会議所1F 研修室1

●鈴木イチロー司法書士事務所
☎0120-631-577



こころちゃん

子どもの人権について

春ですね。新しい旅立ちが始まりました。皆さんのお子さん、お孫さん、ご近所の中にも、入園・入学・進級・進学、または引越越しなどいろいろな転機を迎えている方がいらっしゃるのではないでしょうか。

「子どもは地域の宝」「子どもは心身ともに健康に自分らしく育つための権利がある」と言われます。

しかし、児童虐待や体罰、児童買春、児童ポルノ、薬物乱用など大人に起因する子どもの人権をめぐる問題が深刻化しています。また、少年

「地元で働いてみませんか？」 求人情報

ハローワーク豊後大野
竹田市ふるさとハローワーク ☎63-1101

- ①看護補助者 1人 13万円 ②調理員 1人 18.9～20.2万円 ③土木作業員 1人 23万円 ④施設整備担当 1人 18～20万円 ⑤食品部門：一般作業員 2人 15～30万円 ⑥保育士 1人 16.8万円 ⑦整備士 1人 16.6～25.5万円 ⑧配送営業 1人 22～30万円 ⑨運転手及び調理補助 1人 13.5万円 ⑩一般事務員 1人 14万円 ⑪大型ダンプ運転手 1人 16～21.6万円 ⑫配送・充填作業員 2人 15.8～18.2万円

【パート求人】(時給)

- ⑬弁当製造販売員 5人 900円 ⑭登録ヘルパー 1人 1200円 ⑮製造補助及び調理補助 2人 800円 ⑯ホテルスタッフ 1人 800～900円 ⑰販売員及び作業員 3人 900～1000円 ⑱鮮魚担当 2人 760円 ⑲介護職員 2人 800～900円 ⑳営業販売員 1人 800円 ㉑客室清掃員 2人 750～900円 ㉒販売員及び作業員 1人 910円 ㉓運転手 2人 1000円 ㉔配車係 1人 737円

○菊池市人権・同和教育シリーズ147号

※児童の権利に関する条約より一部抜粋

犯罪の増加や学校内での最近のいじめの実態は巧妙で、方法・手段も次第にエスカレートしていく傾向にあるなど、執拗・陰湿なケースも増えています。これは、インターネット・スマホなどのソーシャルメディアの介在により、いじめが見えにくくなってきたからです。

「子どもは社会を映す鏡」と言われます。私たちが生きていくこの社会が、子どもたちの世界に暗い影を落としているのだとすれば、これは私たち大人の問題でもあります。大人は子どもを保護して守るだけでなく、一人の人間として、また一人の命・人権をもった人として、基本的人権を尊重すべきだと思います。保護者だけが子育てに関わるのではなく、家庭・学校・地域社会みんなが子どもを守り育てましょう。

※参考文献

○人権の擁護 法務省人権擁護局

●竹田市人権・同和対策課
☎63-1111(内線290)

平成28年度に施行された人権に関する3つの法律「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消法」。「障害者差別解消法」は平成28年4月1日の施行から2年が経過します。

あらためてそれぞれの法律の意味を今一度考えて、差別のない世の中になるよう一人ひとり実践していくことが大事です。

休日及び夜間の在宅当番医院

4月の在宅当番医院

当番日	医療機関	電話番号	当番日	医療機関	電話番号
1(日)	大久保病院	☎64-7777	16(月)	道全内科	☎63-2270
2(月)	道全内科	☎63-2270	17(火)	志賀内科	☎63-2083
3(水)	志賀内科	☎63-2083	18(水)	佐藤医院	☎68-2005
4(木)	久住加藤医院	☎76-0008	19(木)	竹田診療所	☎62-4014
5(金)	須小耳鼻咽喉科	☎63-3387	20(金)	竹田クリニック	☎64-9000
6(土)	古島眼科	☎63-2407	21(土)	大久保病院	☎64-7777
7(日)	大久保病院	☎64-7777	22(日)	竹田医師会病院	☎63-3241
8(日)	竹田医師会病院	☎63-3241	23(月)	道全内科	☎63-2270
9(月)	道全内科	☎63-2270	24(火)	志賀内科	☎63-2083
10(火)	加藤内科医院	☎63-2006	25(水)	秦医院	☎63-2246
11(水)	志賀内科	☎63-2083	26(木)	柚須医院	☎63-2016
12(木)	くどう循環器科・内科	☎63-2304	27(金)	伊藤医院	☎75-2222
13(金)	柚須医院	☎63-2016	28(土)	竹田医師会病院	☎63-3241
14(土)	竹田医師会病院	☎63-3241	29(日)	大久保病院	☎64-7777
15(日)	大久保病院	☎64-7777	30(月)	竹田医師会病院	☎63-3241

受付時間 平日夜間 18:00～21:00 土曜日 13:00～21:00
日曜、祝日 9:00～21:00

注意事項

- ・かかりつけの病院がある場合は、できるだけそこで診てもらおうをお願いします。
- ・当番医は、やむを得ず変更される場合があります。必ず事前に症状などを電話で連絡したうえで受診してください。
- ・症状が重い場合は救急車を呼んでください。
- ・原則として小学生以下の小児救急に関しては、小児科外来休日当番病院を受診してください。

※当番医の情報についてはケーブルテレビのデータ放送「休日当番医」に掲載しています。また、竹田市消防署(☎63-0119)でも確認できます。

歯科休日当番医院

当番日	医療機関	電話番号
4 / 1(日)	長湯ごとう歯科	☎75-3001
4 / 8(日)	竹田市荻歯科診療所	☎68-3263
4 / 15(日)	まつもと歯科クリニック	☎62-2400
4 / 22(日)	久住加藤医院歯科診療部	☎76-0008
4 / 29(日)	長湯ごとう歯科	☎75-3001
4 / 30(日)	竹田市荻歯科診療所	☎68-3263
5 / 3(木)	まつもと歯科クリニック	☎62-2400
5 / 4(金)	竹下歯科医院	☎62-2662
5 / 5(土)	歯科筑紫医院	☎76-0024
5 / 6(日)	長湯ごとう歯科	☎75-3001

※診療時間 9:00～12:00(受付11:30まで)

※診療時間を確認のうえ、受診してください。

※当番医の情報については、大分県歯科医師会のホームページでも確認することができます。

小児科外来休日当番医院

当番日	医療機関
4 / 1(日)	豊後大野市民病院
4 / 7(土)	みやわき小児科・三重東クリニック・竹田市立こども診療所
4 / 8(日)	豊後大野市民病院
4 / 14(土)	みやわき小児科・三重東クリニック・竹田市立こども診療所
4 / 15(日)	豊後大野市民病院
4 / 21(土)	みやわき小児科・三重東クリニック・竹田市立こども診療所
4 / 22(日)	みやわき小児科
4 / 28(土)	みやわき小児科・三重東クリニック・竹田市立こども診療所
4 / 29(日)	みやわき小児科
4 / 30(月)	豊後大野市民病院
5 / 3(木)	豊後大野市民病院
5 / 4(金)	豊後大野市民病院
5 / 5(土)	豊後大野市民病院
5 / 6(日)	豊後大野市民病院

◎豊後大野市民病院(☎0974-42-3121)／みやわき小児科(☎0974-24-0230)／三重東クリニック(☎0974-22-6333)／竹田市立こども診療所(☎63-3838)

受付時間 8:30～11:30(こども診療所は9:00～12:00)

診療時間 9:00～12:00(三重東クリニックは8:30～12:00)

受診時の注意 当番医療機関についてはやむを得ず変更になる場合があります。あらかじめ当番医療機関または竹田市消防署(☎63-0119)に電話でご確認ください。また、院外薬局が休みの場合には、あらかじめ用意された約束処方となる場合があります。なお、毎月の当番表については、大分県豊肥保健所のホームページのお知らせ欄にも掲載しています。

出張！

えがおの子育て 小児科



— 地域医療・小児医療の視点から —

第39回 大分県意識行動調査で竹田市が1番だったもの

4月になりました。昨秋は岡城址の紅葉を拝見する機会に恵まれ、その鮮やかさにとても感動しました。同所の桜は20年くらい前に見たのが最後のよう記憶しています。また機会があれば、プライベートでお伺いしたいと思っています。

さて、先日、平成28年に実施された大分県の県民健康意識行動調査を読みました。健康に関する意識の高さや実際の行動を市町村別に比較した調査で、大分県のホームページにて公開されています。

1番だった項目は、「健康上の問題で日常生活に影響が出ている」、「歯の本数の少なさ」、「病院に入院している」でした。健康に課題を感じている人が多いようです。一方、「胃がん健診を受けた」、「夕食後に間食を摂らない」、「睡眠を十分とっている」、「地縁的な活動をしている」も大分県で1番でした。健康への留意を欠かさず、地域を大切にしていく市民性も垣間見えました。

このように、成人になってからの健康に不安を抱えているなかで、健康を保とうとの意識が高い竹田市であれば、健康づくりは成人になってからでなく、子どもの頃から取り組むべきであることをご理解いただけるのではないかと思います。

体力づくり、生活習慣を乱さないこと、ワクチンで感染症を予防すること、配慮が必要な弱い子どもの心身の健康を支援することなどです。これからこのコラムからご提案していきます。今年度もよろしくお申し込み申し上げます。

(大分大学支員教授 是松聖悟)

子育て世代の負担軽減に—— 子ども医療費の助成内容が拡充されます

平成30年4月診療分から、小中学生の医療費助成の内容が拡充されます。

【改正内容】

- ①小中学生の通院・歯科に係る一部自己負担金(500円/日)を廃止します。
- ②小中学生の通院・歯科・調剤については平成30年4月診療分から、医療機関等の窓口で受給資格者証を提示することにより、医療保険制度における一部負担金の支払いがない「現物給付」にて助成します。(未就学児の変更はありません)

助成対象	対象となる医療費	平成30年3月31日診療分まで (一部自己負担金)	平成30年4月診療分から (一部自己負担金)
未就学児	入院(食事療養費を含む)・ 通院・歯科・調剤	なし (現物給付による助成)	なし (現物給付による助成)
小中学生	入院(食事療養費を含む)・ 調剤	なし (入院：現物、調剤：償還)	なし (現物給付による助成)
	通院・歯科	1日500円 (1医療機関につき月4回までを上限とする)	なし (現物給付による助成)

(注)平成30年3月31日以前の小中学生の診療分(通院・歯科・調剤)については、償還払い(※1)の申請が必要になります。申請期限は診療月の翌月から1年以内です。

(※1)医療機関等の窓口で、医療保険制度における一部負担金を一旦支払い、その後、助成金交付申請に基づき市から助成する方法

医療機関窓口で医療費を支払わなければならない場合

- 受給資格者証の提示がない場合
- 県外の医療機関等で受診した場合
- 訪問看護、柔道整復(整骨院)、補装具の作成

※医療費を支払った場合は、診療月の翌月から1年以内に子ども医療費助成金交付申請書に必要事項を記入のうえ、子育て世代包括支援センター「すまいるセンター」(竹田市社会福祉課内)または各支所の窓口で医療費の返還手続きを行ってください。

助成の対象とならない場合

- 乳幼児健診、交通事故など健康保険が使えない場合
- 診断書等の文書作成料
- 保険適用外の患者負担金
- 学校等でのケガにより日本スポーツ振興センターの災害共済給付を受ける場合

変更の届出が必要な場合

現在「子ども医療費受給資格者証」をお持ちの方で、次の変更があった場合は14日以内に届出をお願いします。

- ①竹田市外へ転出するとき
- ②加入している健康保険が変わったとき
- ③生活保護を受けるようになったとき
- ④住所・氏名が変わったとき



〈届出に必要なもの〉 子ども医療費受給資格者証・子どもの健康保険証(最新のもの)・印鑑

**子育て相談・支援の
窓口を一本化!**
4月から子育て世代包括支援センター「すまいるセンター」を開設します

市では、妊娠期から子育て期における相談・支援窓口として、子育て世代包括支援センター「すまいるセンター」を4月から開設します。妊娠・出産・子育てについての不安や悩みなど、相談内容に応じて専門職員が対応いたします。また、子育て支援サービスの紹介、妊娠・出産・子育てに関する手続きも一つの窓口でできるようになります。

場所は市役所本庁1階の社会福祉課内です。助産師等の専門的支援も受けられるようになりますので、お気軽にご相談ください。お待ちしております!

子育て世代包括支援センター「すまいるセンター」
(竹田市社会福祉課内)
☎63-4823

監査公表

竹田市監査委員

児玉淳一

阿部雅彦

地方自治法第199条の規定

に基づき、平成29年11月から平

成30年2月までの各月において、

市長部局、教育委員会、農業委

員会事務局、議会事務局及び選

挙管理委員会事務局の監査を実

施したので、その結果をお知ら

せします。

■共通事項

財務事務に関する監査につい

ては事前に精査をし、監査当日

は証拠書類及びその他関係書類

等の審査を行い、処理について

修正が必要な箇所は改善するよ

う指導した。

市長部局

■市民課

養豚建設問題及びバイオマス

ガス発電について、十分調査研

究を行い、住民の合意を得なが

ら進めるよう要望する。

組織改革により移管した分掌

事務を含め、市民の身近な業務

執行に課内のさらなる連携を図

られるよう要望する。

■財政課

国の経済財政諮問会議で地方

自治体の基金見直しについて議

論が始められている状況から、

的確な対策を講じられるよう要

望する。

庁内滞納債権対策会議の一層

の成果をあげられるよう要望す

■税務課

新たに設置された「特別収納

推進室」や大分県派遣事業、並

びに市町村相互併任事業等の効

果から滞納額が減少推移してい

る。さらに収納に努められるよ

う要望する。

■高齢者福祉課

平成30年度から3か年におけ

る介護、福祉施策となる「竹田

市第7期老人福祉計画、介護保

険事業計画」の策定にあたって

は、高齢者の生活と健康に関す

る調査結果を基に、広く市民の

ニーズを把握し、高齢者が可能

な限り住み慣れた地域で高齢者

に応じた日常生活を営むことが

できるよう、高齢者と高齢者を
取り巻く本市の実情等を反映さ
せながら、市民各層からなる同
計画策定委員会において議論の
うえに取り組みされるよう要望す
る。

■社会福祉課

生活支援を必要とする人など

の就労等の自立支援を強化して

いただくよう要望する。

■畜産振興室

第11回全国和牛能力共進会に

おいて輝かしい成績を収められ

たことは、県内有数の畜産振興

地域である本市のこれまでの取

り組みの成果である。この成果

を豊後牛のブランド力の向上に

つなげるとともに、本市の肉用

牛の頭数維持及び酪農経営の維

持と安定に向け、大分県との連

携を図り、確実な体制づくりに

取り組まれるよう要望する。

■農林整備課

生産基盤と生活環境の一体的

整備が求められていることから、

土地改良区、農家等と連携しな

がら農業農村整備事業に取り組

まれるよう要望する。

大蘇ダム完了に向けての維持

管理については、国への要望を

継続されるよう要望する。

■建設課

既存市営住宅の現状を踏まえ、
長寿命化や将来のあり方につい
て、関係課と調整のうえ市民の
社会福祉の増進に努められるよ
う要望する。

市道・橋梁・トンネル等の長

寿命化に基づき、点検、維持補

修により市民の安全安心を確保

していただくよう要望する。

■契約検査室

公共工事はもとより、物品や

業務委託の入札事務並びに建築

工事の検査処理について、引き

続き事務手続きを適正に推進さ

れるよう要望する。

■消防本部

緊急援助業務の高度化が求め

られている現状を踏まえ、各種

研修の積極的な活用を図られ市

民の期待に応えられるよう要望

する。

住宅火災の防火対策に有効な

住宅用火災警報器の設置推進や

維持管理について、市民への周

知広報活動を積極的に取り組ま

れるよう要望する。

■保険健康課

二次救急医療体制を確保する

ため、関係機関とのさらなる連

携のもと体制整備を図られるよ

う要望する。

国民健康保険税や後期高齢者

医療保険料の収納率の確保に、
関係課とさらなる連携を図られ
るよう要望する。
こども診療所整備事業の推進

並びに泌尿器科診療の充実のた
め、関係機関と連携を図られる
よう要望する。

■企画情報課

農村回帰の推進にあたっては、

移住希望者に対応するサポート

体制や各種事業を展開し、移住

定住の促進を図られるよう要望

する。

各種補助金、交付金事業につ

いては、事業の成果目標、成果

指標、効果等を十分検証しなが

ら地域の活性化を図られるよう

要望する。

■商工観光課

観光振興並びに商工振興につ

いては、地域経済の活性化を図

られるよう要望する。

各種団体等への補助（助成）

事業並びに指定管理事業につい

て、十分検証されるよう要望す

る。

花水月の管理運営については、

十分な検討を要望する。

■総務課

第3次竹田市行政改革大綱

も残り2年余りとなり着実に実

行するため、中長期的な視点に

立った事務事業の検討を図り、全庁体制で推進するよう要望する。併せて、職員の健康管理の推進にさらに取り組まれるよう要望する。

本市は、過去幾度となく大きな自然災害による甚大な被害を受けてきた。非常時優先業務の執行体制や対応手順を明確にする「竹田市業務継続計画」がこの度策定され、本計画に基づき職員一人ひとりが迅速かつ適正に災害対策が実施できるように、さらに取り組まれるよう要望する。

■文化政策課

竹田市総合文化ホールの開館準備に向けて、関係課と連絡を図りながら広く市民に親しまれる新文化ホールを目指していただきたい。また、市民が主体的に管理運営に参加できる市民協働のシステムづくりに努められるよう要望する。

教育委員会事務局

■教育総務課

学校施設、設備については、検査等を受けながら環境整備に努められるよう要望する。

■学校教育課

「竹田市教育のまちTOP運動」の目標に向け、地域や学校と連携して子どもたちの心を豊かにし、学力、体力の向上を図る取り組みを一層進めていただくよう要望する。

■文化財課

岡城跡をはじめとする市内の文化財は竹田市の宝として、また周辺まちづくりの核として、公開と活用を推進し、集客力の向上等に取り組まれるよう要望する。

■歴史資料館

歴史文化交流センター（仮称）の事業については、建設事業やその後の管理運営等について、市民の意見を反映しながら取り組まれるよう要望する。

■生涯学習課

指定管理事業及び市単補助事業については、成果を十分検証されるよう要望する。

竹田市総合文化ホールの開館後においても、荻福祉健康エリア大ホール、くじゅうサンホール、直入公民館大ホールの一層の利活用について十分な対策を講じられるよう要望する。

生涯学習及びスポーツ振興において、市民の学習や活動の継続がされ、各種事業に取り組ま

れるよう要望する。

農業委員会事務局

農業委員会制度が改正され竹田市の農業振興をさらに推進するための新体制が組織された。農業委員会の主たる使命である「担い手への農地利用の集積、集約化、遊休農地の発生防止、解消、新規参入の推進等」に取り組む農業委員会や、推進委員の運営及び関係機関等との連絡調整に、事務局としてさらに取り組まれるよう要望する。

議会事務局

定例会に限らず臨時会等の日程についても、告知放送等を活用して市民への事前周知を図るとともに、議会の一層の情報公開に努められるよう要望する。

選挙管理委員会事務局

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられていることに伴い、小中学校等での選挙出前授業など啓発活動に積極的に取り組まれるよう要望する。

地産地消エネルギーで

未来のまちづくり

Vol.1

たけたん新電力

今年1月に福岡県みやま市と持続可能な循環型社会構築に向けた包括協定を結び、電力の地産地消による地域活性化を目指す「自治体新電力事業」をスタートさせた竹田市。みやまスマートエネルギー(株)との取次店契約により、3月から市内公共施設約70か所の電力契約を、まちづくりたけたんに移行する手続きが始まりました。

まちづくりたけたん(株)から委託を受け、契約手続き等を行う(株)ECOWの下村崇顕代表に話を聞きました。



↑(株)ECOWの下村崇顕代表

Q1. 今なぜ新電力？

竹田市の人口は今後とも減少が予想され、少子高齢化による経済活動の低下や税収の減少、産業の空洞化などさまざまな問題が懸念されます。

新電力事業を通して、エネルギーの地産地消に取り組むことで経済効果を生み出し、課題解決の糸口を探ります。

Q2. 新電力による効果は？

小売事業者や関連産業の雇用や収益など竹田市の経済活性化につながります。

また、公共施設や民間事業者の電気料金を値下げすることも期待ができ、将来的には電力使用状況を可視化するシステムにより、「高齢者の見守り」や「健康増進等の顧客サービスの提供」が可能になると考えています。

Q3. 竹田市が目指す新電力とは？

いま、エネルギー事業に取り組むことは、未来のまちづくりの第一歩になります。竹田市は太陽光、風力、水力、バイオマス等の自然エネルギー資源に恵まれており、将来はこれらを用いて生産した商品価値の高い電力を販売することを目指しています。

また、エネルギーの地産地消が進むことで、サステナブル(持続可能)なまちという印象が生まれ、そのイメージは観光や農業分野など他の産業にもよい効果を生むのではないのでしょうか。新しい産業と既存の産業が合わさることで竹田の新しい魅力を発掘し、それらを内外に発信していきたいと考えています。

これから12回にわたり、竹田市が進める自治体新電力について詳しく紹介します。

5月号は「全国で続々立ち上がる自治体新電力」です。

●まちづくりたけたん(株)

☎64-0175

職業人材マッチング調査事業

働き手と雇い手のマッチングを図る

市では、有効求人倍率が全国や県平均よりも突出して高く、2.0倍を超えています。

企業では人材不足が深刻化し、将来的に事業の継続・成長が望めない状況に陥ることが予想されます。一方で、求職者からは「仕事がない」「働きたい場所がない」という声があり、求人側と求職側でミスマッチが生じていることが推測されます。

市では、この原因と課題を探りミスマッチを解消するため、「職業人材マッチング調査を委託し実施しました。その調査結果についてお知らせします。」

調査は昨年6月から今年1月にかけて行われ、求人側の市内企業40社と、働き手側として高校生から一般市民までの約400人に、アンケート・ヒアリングを行いました。併せて仲介事業者や大学などにもヒアリングを実施しました。

調査結果

- ◆求人側(企業)の現状
- 65%の企業が人材確保ができていない
- 正社員比率が51%と低く、

パート・アルバイトが多い

○40代の従業員が少なく、60代が最も多い

○在職5～8年の従業員が減少傾向(離職が考えられる)

○市内在住者の雇用が60%を超えており、市外からの人材確保が進んでいない

◆企業の人材確保

人材確保ができていない企業

- 派遣事業者や大学などにパイプがある
- 計画的な求人を行い、市外からの人材を獲得する意識が高い
- 企業のビジョン、将来像に共感を得ることができない
- ↓労働環境を整え、働き手目線で採用を行っている

人材確保が進まない企業

- 求人はハローワークや広告で募集するのみ
- 求職者に「継続力」「忍耐力」「責任感」を求める
- 深夜・早朝・土日勤務が多い
- 雇用形態や低賃金
- ↓企業目線で採用を行っている

◆求職側(働き手)の意見

- ハローワークしか求人情報がない
- 働きたいと思う企業がない
- 民間企業は有休が取りにくい
- 資格が生かせる仕事がない

◆仲介事業者・大学等への調査結果

- 新卒採用を求める場合は、学生のニーズに沿った説明や働く価値を伝えることが大切
- 中途採用を求める場合は、人材の裾野を広げ、賃金待遇以外にも働く価値を伝える
- パート・アルバイトを求める場合は、生活環境や価値観に合わせた働きやすさを整える
- UI・Jターン希望者には、移住相談会や合同就職説明会等アプローチ

このような調査結果から、現在は求職者が企業を選ぶ時代で、企業は業務や求人像を見つめ直すとともに、人材の対象を広げ、ターゲットに合わせた働く価値を提供するなど働き手目線で考えることが求められています。市では今後、時代に沿った企業改革を促しながら、移住相談会や空き家バンクなどの実施モデルを参考とし、求職者へのアプローチを検討していきます。



↑親から話を聞いたり、子どもとふれあう参加者

未婚の独身者に、子どもとのふれあいや子どもを持つ親との会話を通して、結婚へのイメージを持つてもらおうと「ライフデザイン会議 Vol.1」が2月24日、竹田市竹田の光西寺で行われました。本市の25～49歳の未婚率(2015年)は男性が42.5%、女性が27.8%。県平均よりそれぞれ5ポイント、0.3ポイント高く、市では県平均を下回るようさまざまな婚活事業に取り組んでいます。この日は4歳までの子どもがいる親子7組と18歳から40歳までの独身者7人、合わせて約30人が参加。独身者は

ライフデザイン会議Vol.1 将来、家族を持つことをイメージして

親子と一緒のグループの中で、「結婚の決め手は?」「や子育ての楽しさや大変さ」など、子どもを持つ親の本音について話を聞きました。また、独身者らは子どもとふれあったり、客観的に子どもの様子を観察することで、子どもの行動を否定しないことや気持ちに共感することなどを学んでいました。

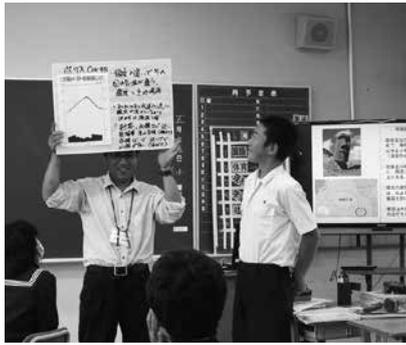
親子で参加した方は「結婚は出発点。楽しいこともたくさんある。独身の皆さんも家族を持つことについて前向きに考えてくれれば」と話し、独身者は「結婚に対する漠然としたイメージがより現実的なものになった」「結婚したらやりたいことが制約されると思っていた。結婚後の方が視野が広がったと聞き、プラスに捉えられた」「子どもと接して、そのエネルギーの大きさを感じた。家族を持つと、子どもが安心できる場所をつくりたい」など、結婚や家族を持つことに対するイメージを膨らませていました。



安心して地域で学ぶ

今月の学び舎

竹田市立久住中学校



↑ 社会の「協調学習」の様子

神馬の橋を渡ると、カーブになった上り坂があります。自然と車のスピードが落ちたときに見えてくるのは、久住中学校の子どもたちの笑顔です。歩道に数人が立ち、にっこり笑い、通り過ぎる車に頭を下げています。どんなに寒い日も、暑い日も、ほぼ毎朝見られる光景——久住中学校の全校生徒による取り組み、「朝の挨拶運動」です。毎日当番を決め、全校生徒が代わる代わる挨拶をします。久住中学校の1日は、この爽やかな生徒の挨拶で始まります。



↑「郷土学」の一環としてのフィールドワーク

本校では、学期に数回「協調学習」を行っています。話し合いの中で学びを深めるこの学習に、生徒も意欲的に取り組めます。たとえば、社会、「もしも、ムー大陸が存在したとするならば、イースター島の雨温図はどのようになるだろうか？」この課題に、生徒の目が輝きます。話し合いの中で友だちの意見を聞くことにより、意見が言えない生徒も自分の考えを持つことができ自信が持てると同様に、相手を認める気持ちも育ちます。この「協調学習」が、久住中学校の生徒の「学ぶ力」を育てる大きな原動力となっています。



↑ 地域の方を講師に料理教室

本校の特色の一つに、地域との濃い結びつきがあります。「郷土学」の一環としてフィールドワークや料理教室、茶道教室等を行います。地域の方が快く講師を引き受け、情熱を持って久住のすばらしさを伝えてくださり、その新たな魅力を知った生徒のふるさとに対する誇りと愛情がより大きくなります。そして、それは「安心して地域で学ぶ」とことへとつながっているのです。

子どもたちの頑張り、保護者の方をはじめとする地域の方々の支えで、久住中学校の未来は明るく輝いています。

(教頭 後藤示裕)

まるごと博物館

149



↑ 木下亮吉

木下亮吉は、明治26(1893)年5月13日、竹田市玉来大字拜田原で生まれました。生家は代々岡藩御用達の紙漉(和紙製造)をしていました。明治33(1900)年、7歳のとき家庭の事情で宮崎県の小学校に転校、翌年には長崎県の湯江村小学校に転校しましたが、同校での成績は優秀で学友会会長に推薦されています。明治39(1906)年、犬養毅が中国からの帰途、諫早小学校で講演することになり、地域の小学生が出席し亮吉も招待されました。はじめ犬養毅の国民的政治運動の話聞き、感動して政治に関心を持つようになりました。長崎市の私立東山学院を卒業後、帰郷して家業を手伝っていました。政治活動への思いが強く、独学で早稲田中法学講義録や同法律講義録を読み政治学を身につけました。

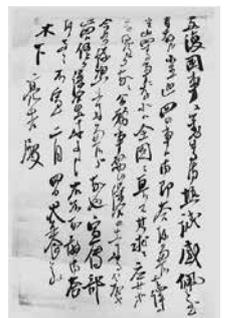
「竹田に護憲運動を広める」木下亮吉

参考
「父、木下亮吉の苦悩を語る」
木下不二天
※本文中の敬称は省略しました。

大正時代に護憲運動(政党内閣による立憲政治)が起こると、大正13(1924)年、大分民友新聞直入総支局を設立し自ら支局長を務めました。また同年に発足した直入郡協政会、竹田町八日会の代表幹事となり、竹田地方に政党政治の気運を高めました。中央政治においては秋田県出身の鷲尾義直(木下亮吉の義父)の編集長と共に、青年木下堂会の発足のため奔走しました。護憲運動を竹田に広めるため、犬養毅に遊説を依頼した書簡も残っています。(写真右)

昭和6(1931)年、崇敬する犬養毅内閣が成立しましたが、亮吉は政治の表には出ず、「権門に屈せず、富貴に媚びず、貧乏を恐れず」を信条として、生涯を立憲政治の普及に尽くしました。

(本田耕二)



↑ 犬養毅書簡(木下亮吉宛)

マイナンバーカードをつくりませんか

①公的な身分証明書として

顔写真付きの公的な身分証明書として、運転免許証などと同じく、口座開設や郵便局での郵便物の受け取りなどで利用できます。

②マイナンバーの提示が1枚で

年金や税などの手続きでマイナンバーを求められても、これ1枚で大丈夫です。

③行政手続や民間サービスの電子申請に

マイナンバーカードを利用すれば子育てサービスの検索や申請、確定申告などがインターネットからできるようになります。民間サービスでも利用され始めています。



申請も意外と簡単

～なりすまし防止のため、住民票のある市役所等にお越しください～

①申請します

(郵送/パソコン/スマホ等)

通知カードについている交付申請書に、顔写真を貼って郵送してください。

◆パソコン、スマートフォンなどからも顔写真を撮影してオンライン申請できます。

②交付通知書が届きます

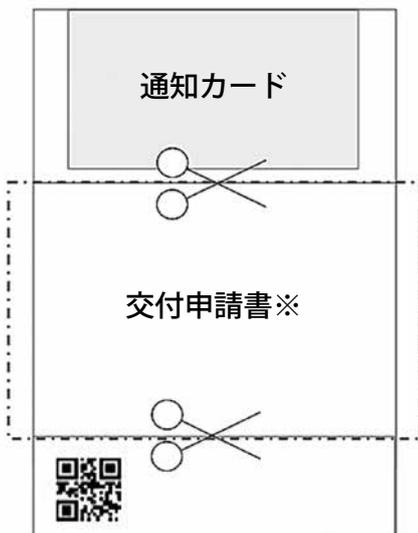
カードの準備ができましたら、ご自宅に交付通知書が届きます。

◆申請してから約1か月かかります。

③市役所等で受け取ります

必要な持ち物をお持ちのうえ、市役所等にお越しください。

◆本人であることを証明する大切なカードですので、ご本人の来庁をお願いします。



申請もいろいろなところから



郵便で



スマートフォンで

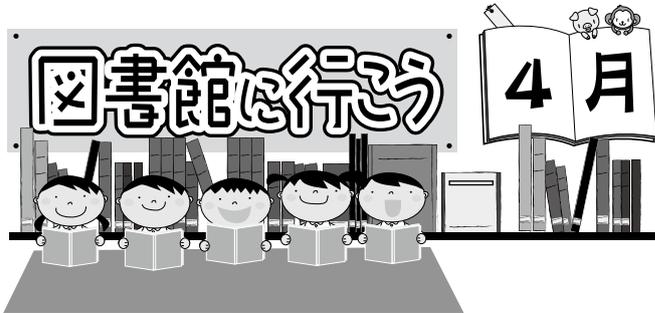


パソコンで

※引越等をした場合は、この交付申請書は使えません。新住所の市役所等で新しい申請書をお受け取りください。

問 マイナンバー制度に関すること
マイナンバーカードに関すること

竹田市総務課 ☎63-4800
竹田市市民課 ☎63-4804



「ユージン・スミス写真集」
W・ユージン・スミス(横)クレヴィス)

一般の本



2018年に生誕100年を迎える、写真に生きた人ユージン・スミス。
59歳という若さで亡くなって40年。生きていた動き、生きている世界、その悲劇を追求してあるがままの人生をとらえた写真家でした。
この本には日本を取材した「太平洋戦争」水俣ほか初期から晩年までの作品を収録。彼の集大成ともいえる一冊です。

司書おすすめの一冊



子どもの本

「おじいさんとヤマガラ」
鈴木まもる(小学館)

虫や鳥や動物が大好きなおじいさんは、冬になるとヤマガラのために、家のまわりに巣箱をとりつけます。毎年ヤマガラがやってきてヒナが育つのが楽しみなのです。この冬も同じように巣箱をつけました。福島で起きた3.11の事故のあと、おじいさんは心配で心配で仕方ありません。おじいさんの心配はみんなの心配です。
被災地の復興や自然の回復はもちろん、すべての生命の強さを願って書かれた絵本です。



- 竹田市立図書館 TEL & FAX 63-1048
- 荻駅交流館図書室 TEL & FAX 68-2200
- 久住図書室 TEL 76-0717 FAX 76-0724
- 直入図書室 TEL 75-2211 FAX 75-2217

春爛漫の4月になりました。新しい出会いの季節ですね！
図書館もいろいろなお本を取り揃えて皆さんのお越しをお待ちしています。
ワクワク、ドキドキ楽しい本やじっくりゆったり読む本など、また時には絵本にも癒されるかもしれません。
さあ、どんな出会いがあるのでしょうか？



「硝子の島」
川野 里子(短歌研究社)

郷土の本



竹田出身の歌人川野里子さんの第5歌集が出版されました。震災後の日本の原像を求めて訪ねた東北、南島、そして老いゆく母、静かな中にびんと張りつめた強さを秘めて詠った30首を軸に、その他発表した作品で構成されています。
荒城の月短歌大会の審査をしてくださっていますので、ご存じの方も多くいらっしゃると思いますが、郷土の歌人の本をぜひ手に取っててください。郷土のコーナーに並んでいます。

新図書館のコーナーご紹介

視聴覚コーナーを曲がると素敵な椅子がずらりと並んでいます。ここは「まどぎわのトットちゃん」ならぬ窓際の読書コーナーです。
外の家並みが窓から見えてとてもくつろげる雰囲気のところ。お気に入りの椅子に座ってゆったりと過ごしてみたいかがですか？ 館内の本を自由にご覧いただけますので一日ゆっくり過ごす方もたくさんいらっしゃいます。ぜひ一度このコーナーの椅子に座ってみてください！
おすすめですよ〜

窓際の読書コーナー 東館



新刊のご案内

- 【一般の本】**
- ・浅見光彦と七人の探偵たち (論創社) 内田 康夫
 - ・坂を見あげて (中央公論新社) 堀江 敏幸
 - ・光点 (集英社) 山岡 ミヤ
 - ・復活の日 新版 (早川書房) 小松 左京
 - ・百年の手紙—日本人が遺したことば (中央公論社) 梯 久美子
 - ・人間の未来A Iの未来 (講談社) 山中 伸弥
 - ・まちづくりの非常識な教科書 (主婦の友社) 吉川 美貴
 - ・情熱の科学 (法政大学出版局) 佐々木裕・執行草舟監修
 - ・タラックス—インドの小さな出版社、まっすぐに本をつくる— (玄光社) 野瀬奈津子
 - ・ひとり暮らしのレスキューBOOK (成美堂出版) 成美堂出版編集部
- 【子どもの本】**
- ・ほーほー (あかちゃんえほん) (小学館) ザ・キャビンカンパニー
 - ・おなががすいたきょうりゅうべべのぼうけん (草炎社) ヒサクニヒコ
 - ・すごいぞ！日本美術 (西村書店) 結城 昌子
 - ・そうだったのか！しゅんかん図鑑 (小学館) 伊知地国夫
 - ・マルコとパーパー—ダウン症のあるむすことぼくのスケッチブック— (偕成社) グスティ
 - ・あっぱれ！ぱくっ (小学館) せきゆうこ
 - ・旅する蝶 (文化学園文化出版局) 新宮 晋
- 他150冊ほど入りました。

- 今月の読み聞かせ
「おはなしひろば」
毎週火曜日 午前10時30分～11時
おはなしひろば
今月の「おはなしルーム」はお休みします。
- 開館のご案内**
- 【竹田市立図書館】
開館時間 午前10時～午後6時
休館日 月曜日・第4金曜日
- 【荻駅交流館図書室】
開館時間 午前10時～午後6時
休館日 土・日・祝日等
- 【久住図書室・直入図書室】
開館時間 午前8時30分～午後5時
休館日 土・日・祝日等

有由有縁

文豪川端康成が晩年、よく揮毫したのが『有由有縁』。人との出会いや物事との接点が生まれるのは、偶然ではなく、それなりの理由が働くからであるという意味です。

市長コラム
〈第103回〉



←「久住校を育てる市民の会」の皆さんと、工藤利明県教育長へ要望

「うし部」の活躍と地域の情熱が背中を押した

久住校が農業高校として 単独校化する

今年の冬はこのほか寒さが厳しかっただけに、春の到来が待ち遠しくてしかたなかった。

さて。この季節、気がかりなのが入学試験であるが、最近では高校の応募状況が気になる。

今年もそうだった。調べてみると県立竹田高校は160人の定員に対して1次の合格者は144人、16人を2次募集しているという状況である。一方、県立三重総合高校の久住校は40人の定員に対して1次合格者は11人、残り29人を2次募集しているところである。さらに、女子サッカー部を新設して20人の部員を含め100人の募集をかけていた私学・竹田南高校はサッカーを希望する女子数人を合わせて25人が1次合格しているとのこと。少子化現象のあおりとはいいながら危惧すべき状況にある。

さて、そんな中、地域に高校を残そうという地域住民主体の活動を10数年来続けてきたのが「久住校を育てる市民の会」である。前身は、「久住校を育てる会」であり、旧久住町時

代から合併後の竹田市へと移行しても、しっかりと引き継がれてきた活動である。

私自身、県議会議員の時代から活動に参加してきたが、会長を歴代の首長が続けていたことを尊重し、その慣例を引き継いだ。ただ、「久住校をサポートする」活動がマンネリ化していたことに危機感を抱き、新たな目標を掲げた。それが、「分校ではなく、農業高校として単独校化してほしい。新たなカリキュラムを加えて魅力的な農業高校にしてほしい。そして、大分県下だけでなく、全国から生徒を募集してほしい」という3本の柱であった。

この分校は地域に残る卒業生たちが支えてきた。いまでも地域の中核農家として活躍している人たちがたくさんいる。卒業生の中には要望を胸に抱きしめながら故人となった人がいる。同窓会長を務めた川越俊市さんや麻生丹さんである。とにかく情熱的だった。久住を愛し、久住校の発展に生涯を捧げたとと言っても過言ではない。

そんな先人たちの思いが、分校であり続け

た久住校の単独校化と全国からの生徒募集の道を拓いてくれたと確信する。

大分県教育委員会の工藤利明教育長から、「久住校を単独校として発展させるには、それなりの条件整備が必要です。県内9校の生徒が利用できる研修棟を大分県が整備するとしたら、地元の竹田市が全国公募の生徒を受け入れる寮を建設するというのは可能ですか」と打診された。寮の規模は41室で82人収容したいという。咄嗟に全国公募の可能性を予知した。

すぐに議会に相談をかけた。事業費は4億円ほどが想定された。財源の余裕があるかと不安になったが、救いは合併特例債の適用だった。これがうまく承認されれば7割の補助金ももらえる。つまり、竹田市の負担は1億2千万円ほどで建設できる。

結果的に財源は希望どおりとなり、議会も同意してくれた。

市長に就任以来、関係者と取り組んできた夢の構想が大きく前進した。31年の春には待望の研修棟と寮が完成する。

「本当に良かった」とつくづく思う。全国から農業を愛する若者たちが学び、日本の将来を担う農業者を育てることができる。

くじゅう高原に夢と希望に満ちた春が訪れた……。

竹田は「おばあちゃん家」

竹田市地域おこし協力隊として3月に任務を終えた山下歩さん(25歳)。会員制交流サイト(SNS)で絶大な人気を集めている映像クリエイターであり、ソングライターだ。

鳥取県出身の山下さんが竹田市に移住したのは昨年6月。以降、地域おこし協力隊員として、観光プロモーション用の映像作品を10本、個人の作品4本を制作するなど精力的に活動を続けてきた。「大自然に癒されながら、気持ちよく仕事をさせてもらった」と話す山下さんの作品には久住高原や祖母山、岡城跡などの竹田の風景や自然な笑顔の人物が、色鮮やかで躍動感あふれる映像とともに登場する。

映像クリエイター・ソングライター 山下歩さん

「竹田は自分にとつての『学校』。ここで暮らし、仕事をしていたことがない人と人のつながりの深さ、心の豊かさを感じ、多くのことを学ばせてもらった」と、10か月の活動を振り返る。

山下さんは4月から活動拠点を沖縄県那覇市に移し、作品づくりを続ける。「おばあちゃんの家みたいに落ち着けて幸せを感じるこのまちで、これからも仕事を続けたい」と、竹田での作品制作も継続する予定だ。

SNSで約25万人のフォロワーを持つ山下さん。今後の活躍に期待しています！



↑映像クリエイターの山下歩さん
竹田で撮影したユーモアと優しさが満載の映像作品は、こちらからチェック！
フェイスブックページ
→<https://www.facebook.com/ayumu822>
ツイッター→<https://twitter.com/ayumu822>
YouTubeチャンネル
→<https://www.youtube.com/user/ayumu822>



第157回

郷土の植物

(348)

カナクギノキ (クスノキ科)

阿孫 久見

丘陵地から山地に生育する高さ15メートルほどの雌雄別株の落葉高木です。成木の樹皮では皮目が目立ち、老樹になると粗く鹿の子模様にはがれ、鱗状に白斑ができます。

枝先に束生状になった互生の葉は全縁(ぎざぎざがない)の倒披針形で基部ほど幅が狭くなり、くさび状になります。大きさは長さ15センチ、幅が4センチほどです。春の頃、葉の展開と同時に写真に黄緑色の小さな径6ミ

ほどの6弁花をたくさん咲かせます。冬のまるくふくらんだ花芽(つぼみ)が左右対になってつくのが特徴です。秋には径7ミほどの赤色の果実を短枝に集めてつけます。

和名の由来はカナクギの金釘ではなく、樹皮の鹿の子模様の鹿の子がなまって、金釘の木の名があります。

竹田では里山でも観察されますが、主に祖母山系やくじゅう山系の山麓で普通に観察されます。花期は4月です。